

まちづくりビジョン(素案)に対する  
意見把握について

# 素案に対する意見把握について

## 意見把握の取組結果(概要)

	パブリックコメント	行政区長意見
実施期間	平成25年12月20日(金) ~ 平成26年1月31日(金)	平成26年1月16日(木) ~ 平成26年2月7日(金)
対象者	—	122名
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北杜市内に在住、在勤、在学の方</li> <li>・北杜市内に事務所又は事務所を有する個人及び法人その他の団体</li> <li>・北杜市内に土地又は建築物を所有する方</li> <li>・北杜市内の土地に建築物の所有を目的とする地上権又は賃借権を有する方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明野町(15名)</li> <li>・須玉町(23名)</li> <li>・高根町(19名)</li> <li>・長坂町(18名)</li> <li>・大泉町(11名)</li> <li>・小淵沢町(13名)</li> <li>・白州町(14名)</li> <li>・武川町(9名)</li> </ul>
回答数	のべ108件 (団体9、個人(世帯)99)※次頁参照	43
備考	市民から広く意見を聞くとの議論から (第2回、第3回委員会の議論による)	第3回委員会の審議において地域の意見を聞くことが望ましいとの議論による (第3回委員会の委員提案)

※「まちづくりビジョン」の検討に先立つ意見把握(ヒアリング)を実施した団体のうち回答のあった団体には、北杜市まちづくりビジョン(素案)を送付し、内容について確認して頂いた。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメント提出状況

・パブリックコメントの延べ件数は108件  
 (内訳：81個人(世帯)から延べ99件、8団体から延べ9件)

		パブリックコメント提出件数							合計
		1件	2件	3件	4件	5件	6件	7件	
個人(世帯)	① 小計	73	3	3	1	0	0	1	81
	② 延べ	73	6	9	4	0	0	7	99
団体※	③ 小計	7	1	0	0	0	0	0	8
	④ 延べ	7	2	0	0	0	0	0	9
合計	小計 (①+③)	80	4	3	1	0	0	1	89
	延べ (②+④)	80	8	9	4	0	0	7	108

※団体：ハヶ岳南麓の未来を考える会、中部横断道ハヶ岳南麓新ルート沿線住民の会、中部横断自動車道ハヶ岳南麓の会、大泉町下井出地区東組高速道路反対対策委員会共同代表一同、NPO法人ハヶ岳南麓景観を考える会、北杜市市民の会、花関所の郷・南清里フラワーパーク企業組合、公益財団法人キープ協会

## パブリックコメント、行政区長から寄せられた意見への対応の考え方

- 寄せられた意見は、提出者氏名及び連絡先を除いて全て公表。  
ただし、意見の内容で個人が特定できる可能性があるものについては、内容如何に関わらず、役職・氏名を全て「\* \*」にて表示。
- 寄せられた意見全てに対して、1つずつ対応案を記載。
- 寄せられた意見の中で、活用検討委員会の所掌外のものについては、その旨記載。
- 所掌外の意見においても、まちづくりビジョンに資する箇所、ビジョンに含まれる箇所やビジョン策定後の道路プランの検討に資する箇所は積極的に抽出し、その旨を対応案に記載。

### <記載例1:ビジョンに資する箇所>

「安全な道路を建設し、50年たっても安全に活用できるよう」

→頂いたご意見の中で、「安全な道路を建設し、50年たっても安全に活用出来るよう」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に『維持・管理』に関する文章を追記させていただきます。

### <記載例2:ビジョンに含まれる箇所>

「国道141号の改修を」

→頂いたご意見の中で、「国道141号改修を」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。

### <記載例3:道路プランの検討に資する箇所>

「遊歩道の整備を実施しつつ」

→頂いたご意見の中で、「遊歩道の整備を実施しつつ」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。

- 一部意見において、ルート帯の土地所有に関する意見が寄せられており、その件に関しては、活用検討委員会の見解として対応案とする。

### <記載例>

北杜市中部横断自動車道活用検討委員会は、「まちづくりビジョン」を審議することから、地域の代表者や市域の主要産業である観光、商工業及び農業などの分野から委員を構成しています。多様な立場から意見を賜り、委員による合議制により審議を行うこととなっています。

また、「まちづくりビジョン」は委員のみの意見にとどまることなく、地域の皆様を対象に複数回にわたる意見の把握を行い、それらの意見を踏まえながら策定していくこととなります。

さらに、検討委員会は、「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」に基づき公開で審議されているところであり、検討委員会の開催や審議結果などの情報は北杜市ホームページに掲載し、透明性を確保しながら審議を行っています。

こうしたことから、「(該当する意見の抜粋)」という意見について、検討委員会の目的達成にあたっては、問題がないと認識しているところです。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメント、行政区長から寄せられた意見によるまちづくりビジョン(素案)の修正箇所

### 環境・景観

- ・P12「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」、「視点①:豊かな自然環境との調和」に『澄んだ空気』という文言を追記
- ・P12「視点①:豊かな自然環境との調和」に『共生』という文言を追記
- ・P13「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」を『優れた景観の保全』とし、解説文を『北杜24景に代表される優れた山岳景観、それらを背景とした農村景観や高原の眼下に広がる渓谷などの景観資源を守り、活用していくため、色彩の工夫、多種多様な景観になじむつくりにするなど、周辺の風景と調和したまちづくり・みちづくりの取組が必要と考えます。』に修正
- ・P13「視点④:貴重な動植物との共存」に『また、貴重な動植物との共存への取組を通し、環境教育の広がりなども期待されます。』という文章を追記

### くらし

- ・P14「視点①:安全・安心の確保に向けて」に『維持・管理』に関する文章を追記
- ・P15「視点②:くらしやすさの向上」に『歩行者の安全確保』に関する文章を追記
- ・P15「視点②:くらしやすさの向上」に『安全性向上』という文言を追記

### 地域活性化

- ・P16「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に『他地域の特産品の呼び込み』という文言を追記
- ・P16「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に『文化・芸術』という文言を追記
- ・P16「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に『八ヶ岳南麓の魅力に後押しされた豊かな経済活動の促進』という文言を追記
- ・P16「視点①:六次産業化・農業と観光の融合による地域活性化」に『優良農地』という文言を追記
- ・P17「視点②:商工業の活性化」に『若者の雇用につながる』という文言を追記
- ・P17「視点②:商工業の活性化」に『物流の拠点づくり』という文言を追記

### 観光

- ・P18「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に『市民の『もてなし』の気持ちを背景に』という文言を追記
- ・P18「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に『癒し』という文言を追記
- ・P18「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に『民間企業や一般市民との協働による観光振興の取組』に関する文章を追記
- ・P18「視点①:観光拠点へのアクセス」に『既存の公共交通網の活用』という文言を追記

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.1	内容	対応案
	<p>中部横断自動車道路活用検討委員会さま 道路の活用検討に携わるみなさま、ご苦労様です。 私のコメントは「道路建設は決まったものとして、その活用のみを検討する」とされる皆様にはご迷惑かもしれませんが、道路は安全に設計され、安心して利用されてこそ「本来の姿」かと思しますのであえて意見をのべさせていただきます。</p> <p>道路公団は、特に今回のような国の直轄事業として建設されたばあい、その修理補修も含めて国が責任を負い、道路特定財源という豊かな財源から支出するものと聞いています。 しかし、***が言われるとおり、維持管理や補修に予算が不足していると聞いています。</p> <p>それならなぜ、維持管理や補修に優先的に予算を使わないのですか？ 私はここで高速道路そのものの建設に反対の意見を申し述べることは控えますが、維持管理に責任を持たない新しい道路を優先してつくることには納得できません。</p> <p>笹子トンネルの事故にしても、誰も責任をとろうとしない、設計施工したのは中日本高速道路会社で、建設省は「意見を言う立場にない(住民説明会での道路公団甲府道路河川事務所談)」とはなんとという無責任な発言でしょう。設計図を点検し、施工に許認可を与える、あるいは監督責任がある立場ではないですか？</p> <p>活用検討委員会の皆様におかれましては、どうぞ、安全な道路を建設し、50年たっても安全に活用できるよう、現在ある道路について責任を問うことから初めていただけたらいかがでしょうか？ 安全であるかどうかわからない道路、事故が起きたら誰が責任をとるのかも定かでない道路をどう活用するのでしょうか？ 以上とりあげていただければ幸いです。 また取り上げていただけない場合はその理由をお知らせください。しかるべきところで公表させていただきます。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道路活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「安全な道路の建設と安心して利用できること」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に『維持・管理』に関する文章を追記します。</p>

注:内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.2	内容	対応案
	<p>道路河川課 御中            標記について、ご苦労様です。            中部横断自動車道の建設に大反対！！            「山紫水明」を標榜する北杜市は、            「人と自然と文化が躍動する環境創造都市」を基本理念としています。            東京の都会人は、これに憧れて八ヶ岳南麓での暮らしを楽しんでおります。            ここに中部横断自動車道が建設されたら、豊かで美しい自然が台無しです。            八ヶ岳南麓に豊かで美しい自然が無くなったら、この土地の価値は無くなります。            八ヶ岳南麓の観光、移住の最大のユーザである都会人は、この地から去るでしょう。            最初は物珍しくこの地に来るでしょうが、その内誰も来なくなります。            豊かで美しい自然とどう共生していくか、            欧米やニュージーランドなどの先進国に滞在し、もっと勉強して下さい。            高速道路を建設するよりも格段に安いです。            今の****、行政幹部の方々は、基本理念を全く理解していないようですね。            言っている事と、行動が出鱈目です。            頭を冷やして、一から出直して下さいな。            一部の利権や、私利私欲で行動しないでいただきたい。            これが日本を悪くする最大の要因です。            一度出来た高速道路は無くなることはありません。            もし、高速道路の思惑は外れたら、誰が責任を取るのですか。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で「豊かで美しい自然」、「八ヶ岳南麓に豊かで美しい自然が無くなったら」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。「豊かで美しい自然とどう共生していくか」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に『共生』という文言を追記します。</p>

注: 内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.4	内容	対応案
	<p>2001年より神奈川から引っ越しをして、北杜市に在住しております。中央高速道路があるおかげで東京との距離も縮まり、必要に応じて車で東京と行き来ができる事の利便性と観光地としての価値の高まりを感じています。ですので、高速道路ができる事に対して「全面的に反対」という訳ではありません。</p> <p>ただ中部横断道路については必要性、利便性がイマイチ見えません。交通量はどれくらいを見込んでいるのでしょうか。</p> <p>当初の計画時には予測数が載っていたと思うのですが正直ちょっと無理がある数字のように感じられました。(今はその予測数が見つけれませんでした)</p> <p>多くの人に利用されてこそ中部横断道路は「商工業の発展」「観光振興」に寄与するのではないのでしょうか。</p> <p>佐久や日本海地域との交通の利便性が上がる事と「地域活性」との相関関係をもう少し明らかにしたいと思えます。</p> <p>しかし今の141号線は今のままで良いとは思いません。防災や医療体制の面からも整備が必要だと思います。片側2車線道路や立体交差にする、またはバイパスをつくる等の整備が必要なのでは無いでしょうか。</p> <p>無理に高速道路を通すよりもそちらの方が有用に思えるのですが如何でしょう。</p> <p>また、まちづくりに関してですが、こちらは高速道路を作るよりも「観光資源の見える化」と「企業の誘致」の方が有用だと思います。</p> <p>北杜市には沢山の観光資源があるのにも関わらず上手くアピールが出来ていないと思います。こちらは街コンや祭り等のイベントをうまく活用して見える化していけばもっとアピール出来るのでは無いでしょうか。</p> <p>また「企業の誘致」は若者たちの雇用の面で重要です。シニア層は老後の田舎暮らしを目指して移住してきますが残念ながら若者たちは都会に流出してしまっています。</p> <p>これは北杜市内に魅力ある雇用が少ない事が原因の一つであると考えられます。</p> <p>観光だけでなく企業の積極的な誘致も重要なのでは無いでしょうか。</p> <p>長文失礼しました。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「多くの人に利用されてこそ中部横断道路は「商工業の発展」「観光振興」に寄与する」、「佐久や日本海地域との交通の利便性が上がる事と「地域活性」との相関関係」に関しては、まちづくりビジョン策定の目的である「地域の活性化に結びつける取組や方策等」に関するものであると捉えております。「今の141号線は今のままで良いとは思いません」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「観光資源の見える化」、「北杜市には沢山の観光資源があるのにも関わらず上手くアピールが出来ていない」と思えます」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P19観光「視点③:周遊・滞在(型)観光を促進する情報発信の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「企業の誘致」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P17地域活性化「視点②:商工業の活性化」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p><b>「企業の誘致」は若者たちの雇用の面で重要です」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P17地域活性化「視点②:商工業の活性化」に『若者の雇用につながる』という文言を追記します。</b></p>

注:内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.5	内容	対応案
	<p>北杜市は、家族連れや高齢者をターゲットにした、四季それぞれに楽しめる滞在型の観光地をめざすべきです。滞在型観光地であるための条件は、滞在者が宿泊場所から歩いて自然を満喫することができるコースが整備されていることです。従って、八ヶ岳南麓の魅力を十分に味わえるように、遊歩道を整備することが欠かせません。特に小海線沿いに、駅から駅に八ヶ岳や南アルプスあるいは田園の景観を楽しみながらゆっくり歩けるコースを設けることが望まれます。現状では、安心して歩ける道はごく少なく、住民も自動車に脅かされながらの外出を強いられています。遊歩道の整備を実施しつつ、住民の理解を得てゾーン30の指定を積極的に目指したり、ドライバーには歩行者に対して徐行を励行するようにキャンペーンを展開するなどの施策が必要です。中部横断自動車道ができて、観光バスが立ち寄るだけの観光地では、一部の事業者がよろこぶだけで、住民の生活の質の向上にはつながらないばかりか、むしろ低下することが心配されます。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「家族連れや高齢者をターゲットにした、四季それぞれに楽しめる滞在型の観光地をめざすべきです」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。また、観光分野に関する各種団体等の取組や関連施策と調整を図って参ります。</p> <p>「八ヶ岳南麓の魅力を十分に味わえるように、遊歩道を整備することが欠かせません」、「遊歩道の整備を実施しつつ」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「住民の理解を得てゾーン30の指定を積極的に目指したり、ドライバーには歩行者に対して徐行を励行するようにキャンペーンを展開するなどの施策が必要です」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に『歩行者の安全確保』に関する文章を追記します。</p> <p>「観光バスが立ち寄るだけの観光地では、一部の事業者がよろこぶだけで、住民の生活の質の向上にはつながらないばかりか、むしろ低下することが心配されます」に関しては、上位関連施策等と整合を図りながら(各種団体の取組とも調整を図りながら)進めて参ります。</p>

注: 内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.6	内容	対応案
	<p>中部横断自動車道活用検討委員会事務局御中 パブリックコメント 12月6日 NHKの「ヤマナシQUEST」トンネルや橋は、国や県が管理するものの以外に市や町も管理している。調査が始まった北杜市の事例をもとに課題にせまる。という番組でした。****は番組の中で「安全は予算に代えられない。点検だけはちゃんとしていきたい。人口減少、財政が厳しい」と話していた。子育て支援、温泉料金の値上げ問題でも、**、市幹部は口を開けば財政が厳しいと市民の要望を真剣に対応しようとしなかった。それなら、今回の中部横断自動車道活用委員会も根本的に発想を転換して、高速道路建設の財源があるなら、トンネル、橋のインフラ安全対策へ振り向けるよう、国に働きかける委員会に改組して取り組むべきではありませんか。これこそ、**のコメントに答える仕事だと私は考えます。トンネルや橋を通過するたびに不安を抱く生活はまっぴらです。高速道路建設を後押しすることより、山と水、緑と太陽の自然景観を活用すること。この仕事に誇りを持ってガンバッテください。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「トンネルや橋を通過するたびに不安を抱く生活はまっぴらです」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に『維持・管理』に関する文章を追記します。</p> <p>「山と水、緑と太陽の自然景観を活用すること」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。</p>

注:内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.12	内容	対応案
	<p>標題: 中部横断自動車道建設案についての意見 北杜市役所道路河川課御中</p> <p>いつもお仕事ご苦労さまです。 私はここ八ヶ岳南麓の魅力に惹かれて12年前に移り住んだものです。 景観はもちろん、空気・水・米・野菜そして星空、こんな魅力的な地域は日本全国見渡してもそうそう多くはないと思います。こんなかけがえのない環境を一度壊したら百年たっても取り戻すことは出来ません。</p> <p>中部横断自動車建設のルート案はまさにこの環境を切り裂く計画です。 空気も水脈も静けさも星空もすべてを壊してしまう計画です。 北杜市が住みやすい市になるよう仕事をしておられる皆様はこんな計画に賛成されるとはとても考えられません。国土交通省の計画ですが、地元で働く職員としてどうかこの計画をなくす方向(市民の多くの意見)で努力して頂きたい。</p> <p>我が家はまさにこの計画案の真っただ中にあります。今の生活が壊されることを考えると体調までおかしくなっています。そあいて今住んでいる私たちだけではありません。 子どもや孫、子子孫孫に素晴らしい環境を残してやりたいのです。そして国も市も財政の窮迫している状況の中で、借金を増やしてまで必要でない負の遺産を残さないで欲しいのです。 これは我々大人の務めではないでしょうか。</p> <p>地域の発展・活性化を考えても、141号線の改修こそが最善の方法だと思います。二十数年前とは時代状況は全く変わっています。しっかり現状を見つめて、市民との対話を大事にしながら市民が喜ぶしの政策を進めて下さい。よろしくお願ひします。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で「景観はもちろん、空気・水・米・野菜そして星空、こんな魅力的な地域は日本全国見渡してもそうそう多くはないと思います」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」、環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に『澄んだ空気』という文言を追記します。</p> <p>「地域の発展・活性化を考えても、141号線の改修こそが最善の方法だと思います」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参るとともに、具体的な取組については、まちづくりビジョン策定後のビジョンを達成するための道路プラン策定の際に検討して参ります。</p>

注: 内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.15-1	内容	対応案
	<p>標題：北杜市中部横断自動車道とまちづくりビジョンについての意見(パブリックコメント)</p> <p>「北杜市まちづくりビジョン(素案)」にある「中部横断自動車道の整備に伴う効果」とは、そもそも一体何なのでしょう。北杜市における「中部横断自動車道」はもともと小淵沢町付近から清里方面へ抜けるルート案が示されていましたが、強い地元の反対があって、長坂インターからの新ルート案が示されました。新しいルート案にはどれだけの賛成があったのでしょうか。旧ルートも新ルートともにハケ岳南麓で、素晴らしい景観と静謐な環境、多くの優良な農地があり、地元の住民と別荘地の住民が多く生活しています。このような農地や村落、別荘地を広範囲に破壊して行かざるを得ない高速道路に賛成する人がどれほどいるのでしょうか。旧ルートも新ルートも賛否に大きな差異があるとは思えません。多くの方の反対を押し切って造られたとしても、そこにどんな効果があるのでしょうか。中部横断道ありきのまちづくりには大きな違和感を覚えます。まちづくりにはもっと堅実なプランを基礎に置くべきではないのでしょうか。</p> <p>当地における中部横断道計画自体が小泉政権時において国の財政状況から不採算路線として建設中止が決定されたと聞いています。国の財政が一向に改善されていない中で建設計画の再浮上はアベノミクスがあると言ってもいかに危ういものであるか、考えないわけにはいきません。長期に渡って総額1000億から2000億もの巨額な費用の予算措置が継続されうるものかどうか深刻な危惧を持たざるを得ません。大変なリスクが有るのではないのでしょうか。用地買収が済んだとしても、あるいは橋脚や土盛りが出来たとしても、いったん国の財政に新たな陰りが出た場合には即座に建設中止の対象になることが大いに考えられることです。何らかの建設物が残り、周囲は雑草が生い茂る荒廃した土地が広がるという最悪の事態が目に見えるようです。そんな所に住みたい人はいません。高度経済成長の時代は過去のものであり、あてにならない公共投資に頼ることなく、地域の総意に根ざした堅実な施策によって北杜市のまちづくりは行うべきではないのでしょうか。ハケ岳南麓には多額の経費を投入して造られた優良な農地があり、そこからは地元の農家や新規就農者の汗の結晶とも言うべき農産物が生み出されています。これをどんな効果があるかわからない計画で蹂躪することはあってはならないことと考えます。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「ハケ岳南麓で、素晴らしい景観」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②：優れた山岳景観と農村景観の保全」に位置づけられております。</p> <p>「静謐な環境」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点③：良好な生活環境への配慮」の「良好な生活環境」に含まれるものとします。</p> <p>「農地や村落、別荘地を広範囲に破壊」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点③：良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「多くの優良な農地があり」、「ハケ岳南麓には多額の経費を投入して造られた優良な農地があり、そこからは地元の農家や新規就農者の汗の結晶とも言うべき農産物が生み出されています。」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「視点①：六次産業化・農業と観光の融合による地域活性化」に『優良農地』という文言を追記します。</p>

注：内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.15-2	内容	対応案
	<p>あえてここで私見を言わせていただければ、第一に観光や地域活動を中心に街づくりを考えるのであれば、北杜市にJRの駅が6つもある特徴を生かして鉄道を利用した地域の活性化を目指すべきではないでしょうか。各駅、各地域とも独特の特徴を持っており、出来れば韮崎市から甲府へ至る歴史的にも魅力豊かなエリアとも連携、協力した活性化策が有効ではないでしょうか。また、コンクリート建築物によるのではなく、田園都市として緑と清流の地域、農産物豊かな地域を、また文化・芸術に秀でた多くの方々の活躍される特色ある地域を目指すべきではないでしょうか。当地も安曇野の清流(ワサビ田など)には負けているではありませんか。東京をはじめとする大都会には、夢をもって生活しているものの何か満たされない想いでいる人が大勢います。この想いの本当の受け皿は地方です。山梨県、特に北杜市は農業、観光、文化芸術の様々な分野で多くの人を受け入れることが出来る優れた地域になると考えられます。</p> <p>上述しました通りこの道路計画には莫大な予算が想定されています。多くの借金をかかえる日本の財政状況を考えるとき、不要不急の高速道路を建設する必然性はまったく考えられません。当地の交通は在来の国道、県道を整備すれば十分であることは多くの方の一致した意見です。在来の道路を整備することによる地域の活性化こそ、真の発展につながるものと考えられます。この方がはるかに少ない経費で済み、さらに笹子トンネル事故を考えると、これから必要とされる既存道路や橋梁のメンテナンスとそのための人材の育成、確保にこそ予算をあてるべきと考えます。北杜市内でも多くの橋梁が点検されていないと聞きます。私が時々通る掘割式のJR路線の上を通る橋梁は錆がひどく雑草に囲まれておりいかにも何年も点検整備はされていないといった感じです。万一、落下事故でもあった場合には大惨事も考えられます。何を優先すべきか明白ではないでしょうか。</p>	<p>「北杜市にJRの駅が6つもある特徴を生かして鉄道を利用した地域の活性化を目指すべきではないでしょうか。各駅、各地域とも独特の特徴を持っており、出来れば韮崎市から甲府へ至る歴史的にも魅力豊かなエリアとも連携、協力した活性化策が有効ではないでしょうか」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「田園都市として緑と清流の地域」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に位置付けられております。</p> <p>「農産物豊かな地域」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「視点①:六次産業化・農業と観光の融合による地域活性化」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「文化・芸術に秀でた多くの方々の活躍される特色ある地域を目指すべきではないでしょうか」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に『文化・芸術』という文言を追記します。</p> <p>「当地の交通は在来の国道、県道を整備すれば十分であること」に関しては、まちづくりビジョンP15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「在来の道路を整備することによる地域の活性化こそ、真の発展につながるものと考えられます」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p>

注:内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.18	内容	対応案
	<p>標題:北杜市中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)のパブリックコメント</p> <p>上記ビジョンをホームページで拝見しました。以下意見を述べさせていただきます。</p> <p>日本は、敗戦後の復興の過程で大きな過ちがあったと思います。それは、人間が生きていく基本である「自然の恵みを頂く」農業、林業、酪農、漁業などを大切にしていなかったことです。それがこのビジョンにも反映しています。日本の、そして北杜市の将来を考えるなら、まず農業、その基礎となる土壌や作り手の確保をどう守るかが基本的なことだと思います。今稲作や野菜作りをしている高齢者が働けなくなったら、里山保全ゾーンや田園集落ゾーンはますます荒れていくでしょう。環境も景観も、人を含めた動植物が健やかに生存し続けられる事を基本に据えての事ではないでしょうか。それらの基盤がしっかりした所こそ、長期滞在したい癒しの地域になると思います。</p> <p>14pに、「北杜市は、…交通安全の観点から危険な生活道路の散在、市民の足となる公共交通網が不足していると捉えています」と書かれていますが、北杜市は高齢者の事故が多いと警察から指摘されています。生活道路の整備、公共交通の整備で市民の安全・安心を保障することに財源を充てるべきで、中部横断自動車道が全て高速である必要はないと思います。国道141号線に必要な改良整備をして、そしてそこに繋がる生活道路も整備されて事故が少なく安全となれば、訪れる人も安心して移動できます。たとえ高速を使って短時間で来ることが出来ても、高速を降りたら事故が多い危険な地域というのでは、特に地域の事情を知らない観光客は不安になるでしょう。うわべだけの景観を主とした観光を謳歌する時代ではないと思います。</p> <p>これからの人口減少を考えても、高速道路に莫大なお金を注いで孫子の世代に借金の付けを回すより、既存の道路の改良・改善でより少ない資金で安全安心のまちづくりを進める事を求めます。また、今後の人口減少予測、中部横断自動車道南麓ルートの利用者数予測、費用対効果を、過大予測ではなく科学的に納得できる形で示して下さい。よろしくお願ひ申し上げます。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で「北杜市の将来を考えるなら、まず農業、その基礎となる土壌や作り手の確保をどう守るかが基本的なことだと思います。今稲作や野菜作りをしている高齢者が働けなくなったら、里山保全ゾーンや田園集落ゾーンはますます荒れていくでしょう。」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「視点①:六次産業化・農業と観光の融合による地域活性化」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「環境も景観も、人を含めた動植物が健やかに生存し続けられる事を基本に据えての事ではないでしょうか。それらの基盤がしっかりした所こそ、長期滞在したい癒しの地域になると思います」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p><b>「生活道路の整備、公共交通の整備で市民の安全・安心を保障すること」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に『安全性向上』という文言を追記します。</b></p> <p>「国道141号線に必要な改良整備をして、そしてそこに繋がる生活道路も整備されて事故が少なく安全となれば、訪れる人も安心して移動できます」、「既存の道路の改良・改善でより少ない資金で安全安心のまちづくりを進める事を求めます」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参るとともに、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際、経済性にも配慮し、検討して参ります。</p>

注:内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.21-1	内容	対応案
	<p>1.名称が「北杜市中部横断自動車道活用検討委員会」となっているように、中部横断道の活用を前提とした委員会として認識しているが、そもそもの中部横断道建設計画のアンケートでは、北杜市の課題を解決するために、どのルートが良いかを問うていた。アンケートの結果は、141号線改修が多数意見であった。その結果を無視してB案を前提にしていたら、どのように横断道を活用しても課題が解決されない。100歩譲って、B案だけで課題が解決するのか？ 北杜市の抱える課題は、アンケートには載っていない課題も多くある。北杜市として、北杜市の抱える課題を明確にし、その課題の解決には、高速道路の建設是非も含めて議論すべきである。アンケートの結果は141号線改修が多数意見であった。北杜市の課題が、141号線を、どのように改修すれば解決するのか？ その辺りから議論を深めても良いのではないか。現状では高速道路建設反対である。</p> <p>2.「北杜市まちづくりビジョン(素案)」で、別紙のように、まちづくり計画のイメージが決まっている。まだ中部横断道のルートも建設計画も決まっていなのに、それを前提にして、その計画を変更しようとしている。北杜市の住民の合意で決めた計画を、変更しようとしている。</p> <p>本当に中部横断道が、北杜市にとって真に役に立つ道となるのか？ その議論から始めるのが市としての役割ではないのか。国が決めたからと言って、その通りに推進しようとする姿勢は無責任である。以下の点を、しっかりと詰めてから活用検討委員会を組織すべきだ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.新たな道の保守点検で財政的に可能か？</li> <li>2.そのとき、従来の道の保守も含め、保守人員、技術者の確保は出来るのか？</li> <li>3.ハケ岳南麓に高速道路が出来て、人口減や観光に悪い影響がでないか？</li> <li>4.特Aランクの梨北米の収穫量、ランクに悪い影響がでないか？(水量、水質、品質、耕作面積、就農者数など)</li> <li>5.北杜市の財政資源を、何とするか？(観光・農業・自然の地形を活かした産業・企業誘致による都市化など)</li> <li>6.その他</li> </ol> <p>上記を、十分に検討し、その上で住民の意見を、ルートの決まった(実は決まっていない)高速道路を前提にしないパブリックコメントで募るべきである。この意見も排除しないで、パブリックコメントの高速道路建設反対に分類して頂きたい。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で「まちづくり計画のイメージが決まっている」に関しては、まちづくりビジョンは既存計画・上位計画と整合を図り取り組んでいくものです。</p> <p>「1.新たな道の保守点検で財政的に可能か？ 2.そのとき、従来の道の保守も含め、保守人員、技術者の確保は出来るのか？」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に『維持・管理』に関する文章を追記します。</p> <p>「3.ハケ岳南麓に高速道路が出来て、人口減や観光に悪い影響がでないか？」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「4.特Aランクの梨北米の収穫量、ランクに悪い影響がでないか？(水量、水質、品質、耕作面積、就農者数など)」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「視点①六次産業化・農業と観光の融合による地域活性化」に基づき、取り組んで参ります。</p>

注:内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.21-2	内容	対応案
	<p>3.*****は、「丁寧なコミュニケーションを」との指示があった。しかし、その後の新ルート2案は、八ヶ岳南麓に通すルートは、2案とも同じものであり、コミュニケーションの余地が無いものであった。そのような状況を*****はご存知なのか？ ご存知なら、このようなルート案は、絶対に容認されないはずである。国土交通省は、*****と「丁寧なコミュニケーション」が出来ているのか？ *****は、八ヶ岳南麓地域を風景街道に指定して人であるから、その地域の住民が反対していることを存じていたら、このルートは通さないと信じている。是非、*****の言う「丁寧なコミュニケーションを」を、活用検討委員会で行って頂きたい。特に前提としているB案の対象地域に住む住民の意見を、聞くべきである。残念ながら現状では高速道路建設反対である。</p> <p>4.八ヶ岳南麓の地域は、日本でも有数の景勝地である。その環境は、地元住民が永年守り続けたおかげである。それを国が決めたからと言う理由で、横断道を建設することは、地元住民を蔑ろにするだけでなく、観光や二地域居住の政策に反し、北杜市の財産である八ヶ岳南麓の環境を破壊し観光都市となり得なくする行為である。経済的にも決して北杜市の利益にはならない。ここ数年で、多くの方が南麓に移住してきた。北杜市の人口推移を見れば明らかである。この人達は、様々な分野(アートクラフト、飲食店、農産物、食品製造など)で、地域の環境を活かしたモノ作りで店舗などを構え、近郊都市からの集客を実現し地域活性化に貢献している。この事実が、八ヶ岳南麓の環境が北杜市の財産であることを示している。それを壊すことは、北杜市の未来を壊すことである。従って、現状では高速道路建設反対である。</p> <p>5.清里の近くに高速道路のインターチェンジ設置をとの声もあるが、インターチェンジが出来たら、それだけで賑わいが戻ることは無い。軽井沢の例を挙げると、中心地を遠く離れたところにインターチェンジがあるが、それで、賑わいが無くなることは無かった。むしろ、中心地に行くまでの道路沿線に活気が出てきたし、中心地も同じようににぎわっている状況である。注目すべきは、インターチェンジから中心地への道が活性化したことである。また、清里にインターチェンジが出来たら、この地は、都心からの日帰りコース、軽井沢への通過コースになることは目に見えている。現に山梨市は、日帰り客が増えて、宿泊業者が困っている状況になっている。山梨市の二の舞になることは必然である。</p>	<p>「観光や二地域居住の政策」に関しては、上位関連施策等と整合を図りながら(各種団体の取組とも調整を図りながら)進めて参ります。</p> <p>「様々な分野(アートクラフト、飲食店、農産物、食品製造など)で、地域の環境を活かしたモノ作りで店舗などを構え、近郊都市からの集客を実現し地域活性化に貢献している」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に『八ヶ岳南麓の魅力に後押しされた豊かな経済活動の促進』という文言を追記します。</p> <p>「清里の近くに高速道路のインターチェンジ設置をとの声もあるが、インターチェンジが出来たら、それだけで賑わいが戻ることは無い。軽井沢の例を挙げると、中心地を遠く離れたところにインターチェンジがあるが、それで、賑わいが無くなることは無かった。むしろ、中心地に行くまでの道路沿線に活気が出てきたし、中心地も同じようににぎわっている状況である。注目すべきは、インターチェンジから中心地への道が活性化したこと」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p>

注: 内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.21-3	内容	対応案
	<p>このように清里の近くにインターチェンジが出来たら、観光客が増えても清里地区の宿泊業は衰退するであろう。更に、今は清里へは、長坂ICから県道28号線、須玉ICから国道141号線が主要な道となっているが、高速道路が出来たら、今でも少ない交通量の中で頑張っている個性的な店が決定的なダメージを受けることになる。つまり、清里の一部の観光スポットが賑わうが、清里の宿泊業者、県道28号、国道141号沿いの店が衰退し、北杜市の観光産業に大きなダメージになる</p> <p>八ヶ岳南麓に高速道路は要らない。現状で魅力ある施策が創れるか否かである。市政と住民との、密なコミュニケーションがあれば実現できる。現状では高速道路建設反対である。</p> <p>6.八ヶ岳南麓には、四全総で長坂-八千穂が決まってから以降も移住してくる人が増えている。北杜市が年々人口を減らす中、主たる南麓の地域である大泉町、高根町、長坂町は、人口が横ばいか少し増加の傾向にある。特に大泉町は、移住者が過半数を超えたと聞いている。</p> <p>それら移住者が、北杜市に何を求めて移住したのか？ 移住者が北杜市の経済活動にどの程度寄与しているか？ しっかりとアンケートで意見を募り、施策に反映すれば、きっと良くなる。</p> <p>私は、自然の中で、且つある程度の都会の便利さを享受できる、そのような終の棲家を求めて移住してきた。自然の中で、澄んだ空気がもたらす青空と夜の星がいっぱい見える星空、八ヶ岳の伏流水のおいしい水、北になだらかに広がった八ヶ岳、西に甲斐駒・北岳などの雄大な南アルプス、南に世界遺産富士山など、日本の最高峰ベスト3が一度に見られる風景、多少遠いがスーパーマーケット、コンビニなど、生活に不便無いお店など、ほぼ完ぺきな環境である。従って、現状では高速道路建設反対である。</p>	<p>「清里の近くにインターチェンジが出来たら、観光客が増えても清里地区の宿泊業は衰退するであろう。更に、今は清里へは、長坂ICから県道28号線、須玉ICから国道141号線が主要な道となっているが、高速道路が出来たら、今でも少ない交通量の中で頑張っている個性的な店が決定的なダメージを受けることになる。つまり、清里の一部の観光スポットが賑わうが、清里の宿泊業者、県道28号、国道141号沿いの店が衰退し、北杜市の観光産業に大きなダメージになる」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「自然の中で、澄んだ空気がもたらす青空と夜の星がいっぱい見える星空、八ヶ岳の伏流水のおいしい水、北になだらかに広がった八ヶ岳、西に甲斐駒・北岳などの雄大な南アルプス、南に世界遺産富士山など、日本の最高峰ベスト3が一度に見られる風景」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。</p>

注:内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.25-1	内容	対応案
	<p>パブリックコメント 「(仮称)中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)」への意見書</p> <p>新ルート決定までの経過は不可解 2012年10月4日に関東地方小委員会が旧清里有料道路ルートの変更を示してからたった1か月後に新ルートA/B案が発表されました。1・2回のアンケートにも載っていないルートでした。高速道路のルートがこんなに簡単に決められてよいはずがありません。現地調査の時間もなく、地図上に清里から長坂まで筆で線を引いただけのものと思われます。沿線地域に生活している人たちからの反対の意思表示は強いものであったのは当然なことでした。 私たちは、突然出されたこの新ルート案に反対です。</p> <p>何故まちづくりビジョンが必要なのか？ そして何故今なのか 地元説明会では高速道路は順調に進んだとして13年後に完成とのことでした。 まだ新ルートが決定されていないにも拘らず中部横断自動車道活用検討委員会が作られ、なにも議論がなされない会議が3回行われてビジョン素案が出されました。なぜこのように急ぐのでしょうか。それは昨年6月に出されたワーキンググループが出した付帯条件「継続して地元住民の意見を聞く仕組みづくりを構築すること」によるものです。このようにまちづくりビジョンが高速道路の建設のために形式的に作られて良いのでしょうか。 私たちは、このような活用検討委員会の開催と、そこでの議論の進め方に憤りを感じています。</p> <p>中部横断自動車道ができれば 活用検討委員会の資料によれば中部横断道が作られたら多くの良いことが並べられています。ビジョンの基本方針には「豊かな自然環境との調和」「暮らしやすさの向上」「農業と観光の融合による地域活性化」「ゆたかな景色を満喫できる場の工夫」が並んでいます。これらの全てが、人工的なシンボルにもなっている高速道路によって破壊されるものと沿線住民の私たちは感じているものです。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p>

注: 内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.25-2	内容	対応案
	<p>中部横断道新ルート計画は交通量の少なさから片道1車線になっています。有料にしても採算が取れないので国直轄方式で無料になりそうです。当然サービスエリアは作られません。そして国道141号線、県道28号線沿線の商店は交通量の激減による衰退が避けられません。</p> <p>新ルート発表で地域地民間の深くなる溝          ここ八ヶ岳南麓は日本には稀有な山岳景観と豊かな八ヶ岳の森に囲まれて静かな生活に適した地域です。首都圏に近いという条件もありリタイア後の静かな生活を求めて移住している人そして、避暑地として別荘が多いのが特徴になっています。この人たちは静かな生活を望んでいることから高速道路には反対です。そして中部横断道建設を数十年と働きかけてきた集落の住民は当然にも賛成です。コミュニケーションの少ない地域住民間で賛成・反対を主張すれば悪い感情が醸し出されることは当然の成り行きになります。地元説明会の場でもこの感情の噴出が見られました。地域住民の融和を求めてしかるべき北杜市当局は反対の考えを持っている人たちの運動を押さえ込むことしか念頭にないのは残念としか言えません。地域の活性化には住民間の良好なコミュニケーションがあることが不可欠です。</p> <p>地域の活性化とは何か          野辺山から国道141号を南下すると八ヶ岳南麓地域の特徴がよくわかります。それまでの国道141号だけの一本道から八ヶ岳横断道、県道28号、広域農道等多くの道に枝分かれをしています。そして、ゆたかな森と田園の中に集落と移住者の家が点在しています。レストラン、カフェ、パン屋さんが多くあるのも特徴の一つです。クラフト作家の工房が隠れているのも他にないものの一つです。自然の風景が創作活動を後押ししているのは間違いのないことです。八ヶ岳南麓の地域は独特の雰囲気と豊かな経済活動がなされているのです。これらのことは生活している人々のたゆまぬ努力で作られているものです。決して行政の指導とかビジョンによるものではありません。そういう住民たちの努力を十分に汲み取って行政の施策に生かしていくために、活用検討委員会では「B案が前提」という枠を設けるのではなく、もっと幅広い立場で市民の意見を聞くことが必要です。</p>	<p>なお、頂いたご意見の中で「国道141号線、県道28号線沿線の商店は交通量の激減による衰退が避けられません」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「八ヶ岳南麓は日本には稀有な山岳景観と豊かな八ヶ岳の森に囲まれて静かな生活に適した地域です」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「地域の活性化には住民間の良好なコミュニケーションがあることが不可欠です」に関しては、ビジョンを達成するための道路プラン策定においても、引き続き市民の皆様のご意見を伺いながら検討して参ります。</p> <p>「ゆたかな森と田園の中に集落と移住者の家が点在しています。レストラン、カフェ、パン屋さんが多くあるのも特徴の一つです。クラフト作家の工房が隠れているのも他にないものの一つです。自然の風景が創作活動を後押ししているのは間違いのないことです。八ヶ岳南麓の地域は独特の雰囲気と豊かな経済活動がなされているのです」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に『八ヶ岳南麓の魅力に後押しされた豊かな経済活動の促進』という文言を追記します。</p>

注:内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.25-3	内容	対応案
	<p>住民参画型の道づくりを！ この道路のルートに住民参画で協議してまとめてほしいと度々要望してきました。しかし北杜市は、ルートは国が決めるものとの考えを変えませんでした。国は、北杜市が動かないからやらない、とお互い「火の粉を被りたくない」と思ったのでしょうか。この地域住民置き去りは、住民が犠牲になる構図でもあることをどのように考えているのでしょうか</p> <p>どのような道路をどこに通すのが地域活性化につながるか、少しでも良い判断をするため国交省もガイドラインを設けて住民参画での道づくりを進めています。住民参加により計画の当事者意識も生まれ、行政への信頼も増すのではないかと思います。他の地域できている住民参画型道づくりがここ北杜市では何故できないのでしょうか。</p> <p>最後に基本理念 以下の文はビジョンの基本理念として作られています。 地域を『つなぐ』、地域を『支える』、地域『なじむ』 地域との『協働』による北杜のまちづくり・みちづくり この言葉どおり、原点に戻ったみちづくり、まちづくりのため、活用検討委員会は休止し、幅広い市民間協議をはじめめることを提案します。</p>	

注：内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.28-1	内容	対応案
	<p>「(仮称)中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)」について 活用検討委員会及びまちづくりビジョンについて述べさせていただきます。 「B案前提」での活用検討委員会及びまちづくりビジョンのあり方はおかしいと思えます。 まず、検討する場合には、「この八ヶ岳南麓に高速道路が必要か否か」で論議すべきです。 私は、この八ヶ岳南麓を横断する高速道路は必要ないと思っています。そして、「B案前提」の活用検討委員会は休止し、市民参加の協議をするべきだと考えています。</p> <p>1、活用検討委員会は、「B案前提」を条件にしています。なぜ、「八ヶ岳南麓に高速は必要か否か」から論議を始めないのでしょうか。また、委員の選出にも問題があります。一般公募して、どういう街づくりが良いか、大きな視点に立った話し合いをすべきだと思います。現状の活用検討委員会は、委員会に出席した委員たちが、「何をどう話せばよいのか」「我々委員は刺身のつまなのか」と言った発言があるほど、意義づけも内容もはっきりしない活用検討委員会です。</p> <p>2、アンケート結果や地元説明会での多くの意見は「八ヶ岳南麓に高速道路はいらぬ。141号の改修を」でした。その民意を無視した形で、現在の活用検討委員会に至っていることはとても残念です。</p> <p>3、世界遺産を目指す八ヶ岳南麓に、横断する道路ができて、人工的な景観を作ったのでは世界一とはいえません。横道が多く存在する北杜市では、この多くの道を活用した観光地として、国交省が行う日本風景街道に「八ヶ岳南麓風景街道」として認定されています。観光客をよぶには、こうした自然と調和する街づくりを考えていく必要があります。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で「世界遺産を目指す八ヶ岳南麓」、「観光客をよぶには、こうした自然と調和する街づくりを考えていく必要があります」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。</p>

注:内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.28-2	内容	対応案
	<p>4、高速道路ができれば街が活発化するのではなく、その土地にあった環境を考慮しながらの観光を考えなければ観光客は呼べません。さらに、この地の自然を求めてきた別荘や移住者が高速道路ができることによって離れていきます。また、ハケ岳には、物づくりを生業にしている工房やこの地のおいしい水を使ったパン屋さんなど個性豊かな店舗が多くありますが、その魅力ある地域が高速道路の建設によって無くなる可能性もあります。高速道路建設は観光客を呼ぶどころか長野への通過地点に成り、国道141号や県道28号にある店舗も衰退してゆきます。</p> <p>5、ビジョンの基本理念通り、地域を『つなぐ』、地域を『支える』、地域に『なじむ』地域との『協働』による北杜のまちづくり・みちづくり。この言葉どおり、原点に返ったみちづくり、まちづくりのため、活用検討委員会は休止し、幅広い市民間協議をはじめめることを提案します。</p> <p>2014年1月29日</p>	<p>「ハケ岳には、物づくりを生業にしている工房やこの地のおいしい水を使ったパン屋さんなど個性豊かな店舗が多くあります」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に『ハケ岳南麓の魅力に後押しされた豊かな経済活動の促進』という文言を追記します。</p> <p>「国道141号や県道28号にある店舗も衰退してゆきます」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p>

注:内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.33-1	内容	対応案
	<p>NPO法人ハケ岳南麓景観を考える会 2014年1月28日 「(仮称)北杜市中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)」へのパブリックコメント</p> <p>私たちは世界一流のハケ岳南麓の美しい景観を日本の財産と認識し、これを次世代に伝えようと活動している市民団体です。</p> <p>高速道路が必要かどうかを検討している段階であるにもかかわらず、北杜市では、活用委員会を設け、中部横断自動車道の北杜市側(長坂一清里間)の高速道路建設がすでに決まったかのようにして、高速道路のある北杜市を前提としたまちづくりを検討していること大変懸念と危惧をもっています。今検討すべきは、高速道路が最良の選択か、それとも自然や景観を活かす国道141号の改善かを検討すべきではないでしょうか。</p> <p>素案の資料では、高速道路から見る景観の写真を多用し、そこに暮らす人々が見る高速道路の姿や高架橋になる可能性などについて言及することなく、また素案の意見も反対意見が多いにもかかわらず、賛成意見を多用し、また北杜市以外の賛成意見も入れた形の素案を作成して、パブリックコメントを募集していることに、恣意的な意図を感じざる負えません。</p> <p>ここに、当会の意見および提案をさせていただきます。</p> <p>1. 当会の意見</p> <p>(1)ハケ岳南麓エリア(須玉川、川俣川の西側地域、及び津金)での、高速道路建設に反対します。</p> <p>ハケ岳地域を通る高速道路は、景観を破壊し、平穏な生活を脅かします。</p> <p>(2)北杜市にとって有益なのは、国道141号を改善して、速達性と安全性を向上することです。国道141号の改善を求めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活道路でもあるので、改善をすれば、安全性が高まり、利便性もまします。</li> <li>・ハケ岳南麓の景観と自然が守られるため、良質のリゾート地として価値を高めることができます。</li> <li>・須玉ICへの走行性・安全性の向上は、運送業者には大きなプラスです。</li> <li>・国道141の通行量が増えるため、国道沿いの商業活動が活性化します。</li> <li>・通過型観光地となりません。高速から降りた観光客は、ゆっくりと良い景観を眺めながらドライブし、ハケ岳地域とその周辺で食事や買い物を楽めるため、地域のビジネスチャンスが広がります。</li> <li>・震災時に市民が使えるのは、国道です。141号の改善は災害時に役立ちます。</li> </ul>	<p>頂いたご意見の中で、「ハケ岳南麓の美しい景観を日本の財産と認識」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」、環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「景観を破壊」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「平穏な生活を脅かします」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「国道141号を改善して、速達性と安全性を向上すること」、「生活道路でもあるので、改善をすれば、安全性が高まり、利便性もまします」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p><b>「走行性・安全性の向上」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に『安全性向上』という文言を追記します。</b></p> <p>「高速から降りた観光客は、ゆっくりと良い景観を眺めながらドライブし、ハケ岳地域とその周辺で食事や買い物を楽めるため、地域のビジネスチャンスが広がります」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P19観光「視点②:豊かな景色を満喫できる場の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「震災時に市民が使えるのは、国道です。141号の改善は災害時に役立ちます」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参ります。</p>

注:内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.33-2	内容	対応案
	<p>(3)国道141号整備し、須玉ICで中央道に接続すべきです。            (4)長野側の中部横断自動車道の建設には反対していません。            2. 上記理由            (1)北杜市は、特に八ヶ岳地域は、世界屈指の眺望景観が地域経済の基盤となっています。            景観は八ヶ岳南麓の命です、宝です。中部横断自動車動は、その景観を脅かし破壊するものです。            長坂から清里を通る中部横断自動車動は、地域経済を疲弊させることは明らかです。高速道路ができれば、八ヶ岳南麓、ひいては北杜市全体も良質の観光地にはなり得ません。            (2)高速道路は、景観だけでなく、静寂さや星空を愛す平穏な生活も脅かします。八ヶ岳南麓の多数の住民や別荘所有者たちは、ここの自然、景観、静かな環境を求めて、ここを選び生活をしています。            (3)****のB案への突然の支持声明は、北杜市庁内でも議会でも、全く議論もせず****独断で出されたものと聞こえています。さらに、観光協会も商工会も、会員の意見も聞かずに支持の意見を出しました。このように、市民の声を無視した市や公的機関の意見は、道路ありきの姿勢であり、将来を見据えて、真にこの地を豊かにするものはなにかを検討すべきです。            (4)交通の便が良くなれば、苦しくなるのが観光業です。便利になれば通過するか、日帰りになります。宿泊業者、特に清里の没落は、中央道ができた時に始まります。ましてや中部横断自動車道ができれば、この八ヶ岳地域全体、さらに北杜市全体が通過型になり、地域経済への打撃は明らかです。            (5)緊急医療施設への移動は、高速道路の必要性の課題ではありません。北杜市民は中部横断自動車道を利用して医療施設には行かないので、高速を必要とする課題にはなりません。            北杜市の住民は、緊急医療の場合、甲府方面なら一般道か、中央自動車道で、甲府中央病院や山梨医大へ、長野方面の諏訪中央病院、諏訪赤十字病院、富士見中央病院も、一般道か、中央自動車道で行きます。遠回りする中部横断自動車道は利用しません。</p>	<p>「景観は八ヶ岳南麓の命です、宝です。中部横断自動車動は、その景観を脅かし破壊するものです」、「高速道路は、景観だけでなく、静寂さや星空を愛す平穏な生活も脅かします」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「長坂から清里を通る中部横断自動車動は、地域経済を疲弊させることは明らかです」、「中部横断自動車道ができれば、この八ヶ岳地域全体、さらに北杜市全体が通過型になり、地域経済への打撃は明らかです」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」、P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p>

注:内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.33-3	内容	対応案
	<p>(6)中部横断自動車道が輸送時間の短縮になるか疑問です。長坂経由の中部横断自動車道は遠回りです。清里から東京方面なら、国道141号で須玉ICから中央道利用の方が便利です。名古屋方面へは、一般道から小淵沢ICからの中央道の利用となります。しかも、冬期は風と寒さによる凍結や雪で、通行止めが予想されるだけでなく、事故の危険も大きいのではないのでしょうか。沿線の住民に、中部横断自動車道を利用するかどうかの調査もせず、中部横断自動車道が便利で利用されることを前提に議論することはおかしいです。</p> <p>3. 国道141号の改善への提案</p> <p>国道141号の改善に際し、機能的改善だけではなく、美しい景観の整備なども盛り込んだ、モデル道路とすることを提案致します。141号沿いにあるけばけばしい看板や廃屋を撤去し、自然を感じ心地よさを楽しめる道路に改善することが、質の高い観光客を引きつけるポイントになります。景観に配慮したモデル道路ができれば、全国的な話題を呼び、この地域の魅力が増し、継続的な経済効果が期待できます。</p> <p>以上</p>	<p>「冬期は風と寒さによる凍結や雪で、通行止めが予想されるだけでなく、事故の危険も大きいのではないのでしょうか」に関しては、冬期の走行安全性に関するご意見と捉えており、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「けばけばしい看板や廃屋を撤去し、自然を感じ心地よさを楽しめる道路に改善することが、質の高い観光客を引きつけるポイントになります。景観に配慮したモデル道路ができれば、全国的な話題を呼び、この地域の魅力が増し、継続的な経済効果が期待できます」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12 環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参るとともに、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p>

注:内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.36	内容	対応案
	<p>中部横断自動車道の早期実現を要望する              八ヶ岳南麓地域は中央自動車道の開通により次のような影響(効果)があった。              ①首都圏から2時間、中部圏から3時間と交通の利便性が高まり、JR中央線との2つの大動脈により、人と物の迅速かつ安全な移動が可能となった。              ②高原リゾート地として注目され、関連施設も整備され、多くの観光客が訪れている。              ③交通の利便性から企業立地が図られ、地元の雇用の増大に繋がっている。              ④首都圏等から、永住者や別荘所有者等が訪れ、地域の人口増加となっている。              ⑤人が訪れることにより、商業(飲食・小売等の数と売り上げの増加)の発展に寄与している。              ⑥住宅需要等の拡大により、地元の不動産業者や土木建設業者等の仕事の増加。              中央自動車道が開通して約30年、この地域は軽井沢と比較する程の画期的な発展を遂げてきた。また、これから一層の発展・活性化が住民の願いである。              今、少子高齢化の進捗がこの地域の重要な課題である。              その原因の一つは、都市部からの高齢者やその予備軍の転入等が多くを占めていると想定される。30%の高齢化率からも明らかである。このため10年後の医療費や介護保険等の負担が懸念される。              一方、地元の多くの若者が転出している状況がある。その原因は、地元若者の働く場が少ないことである。              中央自動車道開通後の30年余で企業立地が図られてきているが充分ではない。              このため、中部横断自動車道は、この地域にとっては中央自動車道に次ぐ第2の発展のチャンスである。              清里地域へのIC設置が想定されるが、現在の清里周辺は観光地としての、かつての繁栄の陰は無く衰退してきている。              傍観しては、入込客の増加は幻と消え、ストロー現象により他地域へ吸引され、清里地域の観光は壊滅的となることが想定される。このことは八ヶ岳南麓地域の観光の衰退に大きく拍車をかけることとなる。              このような状況を打破し、北杜市の一層の拡大発展のため、中部横断自動車道の早期開通を強く要望する。              中部横断自動車道活用検討委員会事務局 御中</p>	<p>頂いたご意見の中で、「一層の発展・活性化が住民の願い」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「地元の多くの若者が転出している状況がある。その原因は、地元若者の働く場が少ないことである。中央自動車道開通後の30年余で企業立地が図られてきているが充分ではない」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P17地域活性化「視点②:商工業の活性化」に『若者の雇用につながる』という文言を追記します。</p> <p>「清里地域へのIC設置が想定されるが、現在の清里周辺は観光地としての、かつての繁栄の陰は無く衰退してきている」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせて頂きます。</p> <p>「傍観しては、入込客の増加は幻と消え、ストロー現象により他地域へ吸引され、清里地域の観光は壊滅的となることが想定される」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「北杜市の一層の拡大発展のため」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p>

注:内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.44-1	内容	対応案
	<p>北杜市役所建設部道路河川課ご担当者さま</p> <p>中部横断道の活用について意見をお送りいたします。</p> <p>私は東京の比較的郊外で生まれ育ちました。折々、年に数度、北杜市へ遊びに来ることはあり、やがて自分の子供を連れて移住しました。</p> <p>子どもを育てるなかで、緑が多い、自然が多いという環境がよいと漠然と感じていました。きっと北杜市の皆様もそれは感じていらっしゃると思います。そして、高速道路が通っても北杜市には緑はたくさんある、多少生態系に影響を与えることがあったとしても、北杜市の一部分に高速道路が通るだけであり自然が多い環境には変わらないとお考えでしょう。</p> <p>しかし、実際に日々暮らしてみて、分かった北杜市の魅力は、緑が多い、自然が多いという漠然としたものではありませんでした。経済を優先する都市の暮らしには、醜いものが多いのです。街並みを壊すような店舗や看板でも、目立てばよい、宣伝になればよい、という経済論理がまかりとおっています。</p> <p>そして人間の本能はそれには耐えられないため、都市住民は、自分の感覚を鈍くさせることで適応していますが、それは精神的には負担であり、ぎすぎすした社会形成の一因ともなっています。ハケ岳の魅力のひとつに「癒し」が挙げられる根底には、心を固く閉じなくても傷つけられない、醜いものが目に入らない、無理に目を背ける努力をしなくてよい、ということがあるのだと思います。</p> <p>自然環境が素晴らしいと観光客も移住者も行政も、つい言ってしまいます。それは、得てして、山や動植物などともとある自然に言及してしまいがちですが、それだけでなく、醜いものを恐れずに安心して心を緩めて緑を堪能できるという環境も大事なのだと思います。ただ緑がある、自然に触れ合える、というだけでは人は癒さるのではない。心を緩めても、傷つけられない保証が必要だ、ということを知っていただきたいと思います。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「緑が多い、自然が多いという環境がよいと漠然と感じていました」「豊かな自然環境と美しい景観をなるべく残すことに努める」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12、13「環境・景観」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「ハケ岳の魅力のひとつに「癒し」が挙げられる」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に、『癒し』という文言を追記します。</p> <p>「醜いものを恐れずに安心して心を緩めて緑を堪能できるという環境も大事なのだと思います」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p>

注: 内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.44-2	内容	対応案
	<p>清里の駅前の荒廃した景色は、ファンシーという当時の流行をそのまま採り入れたこと、経済論理を優先したことへの警鐘です。</p> <p>条例によって店舗や建物、看板などの大きさや色(色数・色調)などに関する規制が必要かもしれません。現在の景観保全の条例で十分なのかどうかを改めて見直しをお願いしたいです。それは、高速道路においても同様です。景色を味わうときに、たとえ自分が数時間前に走ってきた高速道路でさえも、目に入れば邪魔に思えるものです。観光客のエゴに配慮する義務はありませんが、リピーターや移住者の獲得を望むのであれば考慮すべきでしょう。そして同時に観光客や移住者を育てる視点も必要です。たとえば自然も豊かでコンビニエンスストアもたくさんある、というのは暮らしやすい町だと錯覚しがちですが、自分達が求めている「癒し」はそれでは得られないのだと気づけるように。</p> <p>交通の便はよいのに醜いものが少ない、という絶妙なところに北杜市はあり、そのバランスを崩さないように慎重にお願いします。韭崎や諏訪へ走れば郊外型大型店舗が増えつつあるのを感じます。北杜がそうなってしまったら、もう取り返しがつかなくなります。単なる、他より緑の多い郊外、になってしまいます。</p> <p>ただでさえ高速道路を作ることで未来の大人=子ども達にさらなる負債を押しつけるのですから、豊かな自然環境と美しい景観をなるべく残すことに努めるのが、最低限の義務だと思います。</p>	<p>「条例によって店舗や建物、看板などの大きさや色(色数・色調)などに関する規制が必要かもしれません」に関しては、上位関連施策等と整合を図りながら(各種団体の取組とも調整を図りながら)進めて参ります。</p> <p>「景色を味わうときに、たとえ自分が数時間前に走ってきた高速道路でさえも、目に入れば邪魔に思えるものです」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「交通の便はよいのに醜いものが少ない、という絶妙なところに北杜市はあり、そのバランスを崩さないように慎重にお願いします」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「高速道路を作ることで未来の大人=子ども達にさらなる負債を押しつける」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際、経済性にも配慮し、検討して参ります。</p>

注: 内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.55-1	内容	対応案
	<p>私は「南麓を通す高速道路反対・141号改修を求めます」全てのコメントは、それを前提に書いています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Bルート前提の活用検討委員会はおかしいです。広く住民の意見でルートを決める方が良くと思います。</li> <li>2. 北杜市の人口が増えているのは、南麓地域だけです。ここの移住者や別荘所有者が何故ここに決めたのかをアンケートを取ってみてください。そうしたら南麓に高速を通すことなど出来ないはずです。</li> <li>3. 1360mの高地に高速を通して冬場の安全は守れるのでしょうか。通行止や事故、保守費用もかかります。安全な高速道路を造り、それを維持管理が出来るのでしょうか？</li> <li>4. 清らかな豊富な水資源、特に名水百選に選定された湧水等の地下資源は、今貴重です。高速道路開発で、それらは必ず駄目になります。高尾でも、滝が枯れることが無いと言われましたが、実際には枯れました。壊れた自然は戻りません。</li> <li>5. 眺望が人工物で少しでも壊れることは絶対に許せません。人工的な植栽しても、自然な美しさにはなりませんし、景観が分断されます。</li> <li>6. 世界遺産を目指す山岳景観に道路ができては世界遺産の登録申請も出来なくなるでしょう。ハヶ岳南麓の景観を変えないで。</li> <li>7. ハヶ岳PAから長坂ICの間は2kmしかありません。その間にもう一つICを作るのは常識的に考えて危険です。</li> </ol>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「1360mの高地に高速を通して冬場の安全は守れるのでしょうか」に関しては、冬期の走行安全性に関するご意見と捉えており、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「清らかな豊富な水資源、特に名水百選に選定された湧水等の地下資源は、今貴重です」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「世界遺産を目指す山岳景観に道路ができては世界遺産の登録申請も出来なくなるでしょう。ハヶ岳南麓の景観」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「ハヶ岳PAから長坂ICの間は2kmしかありません。その間にもう一つICを作るのは常識的に考えて危険です」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に基づき取り組んで参ります。</p>

注: 内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.55-2	内容	対応案
	<p>8. 救急医療面が課題になっていますが、元々、山梨県側は、甲府方面に搬送しているので、問題ありません。山岳地域での救急搬送は、ドクターヘリか、救急病院を配置することが本当の解決策です。道路を造って解決する問題ではありません。</p> <p>9. 長坂ICは清里への玄関口ですが、高速道路を降りて最初の信号が色褪せて貧相。北杜市の印象が悪くなり、観光客が失望します。観光都市を目指す北杜市なら、このような細かな所にも配慮し、「おもてなし」の心を表せるように、今すぐでも改善してください。</p> <p>10. 清里ICを造って、観光客を増やすことを考えるなら、清里ICを造ったら、逆になります。軽井沢はICが山の中ですが、観光客は多い。ICを作っても観光客が増えないでしょう。逆に、山梨市のように、日帰り圏になって宿泊客が減ることになります。</p>	<p>「長坂ICは清里への玄関口ですが、高速道路を降りて最初の信号が色褪せて貧相」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「「おもてなし」の心を表せるように」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18 観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に、『市民の『もてなし』の気持ちを背景に』という文言を追記します。</p> <p>「清里ICを造って、観光客を増やすことを考えるなら、清里ICを造ったら、逆になります」、「ICを作っても観光客が増えないでしょう」、「山梨市のように、日帰り圏になって宿泊客が減ることになります」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」、P18 観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p>

注:内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.66-1	内容	対応案
	<p>私達夫婦は家族で、主に都会からの観光客や移住者の方々にお客様としてご来店頂き、パン屋を営業しています。</p> <p>営業を始めて10年が過ぎましたが、この十年で多くの住宅や、店舗が増え、この八ヶ岳南麓の素晴らしい環境と景観が多くのの人々を魅了しているのだと実感しています。</p> <p>昨年11月21日に国土交通省の突然の発表で、私達の住居と店舗が中部横断自動車道の新ルート沿線に入ってしまいました。</p> <p>以前より、国土交通省が中部横断自動車道(長坂～八千穂)の計画段階評価のための住民アンケートを行っていましたので、この素晴らしい八ヶ岳南麓を横断する高速道路に反対する署名活動にも参加し、北杜市内で最も支持率が多かった国道141号線の改良案を再検討するよう、国土交通省に働きかけていましたが、再び八ヶ岳南麓を横断する新ルートを提案してきた事には大変強い憤りと怒りを感じています。</p> <p>北杜市においても、再三にわたり住民の意見を聞く場所を設定するよう、住民グループからの要請(北杜市議会への請願も行いました)を行ってきましたが、全く聞き入れられる事無く」今回の活用検討委員会の設置に続きパブリックコメントの実施が始まってしまった事は残念でなりません。</p> <p>下記に私達が考える中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョンに関する疑問を提示させていただきますので、検討の一助として頂ければ幸いです。</p> <p>①そもそもこの中部横断自動車道(長坂～八千穂)は現在計画段階評価中であり、事業化が決定したわけではありませんが、昨年行われた国交省主催の地元説明会の様子でもわかるように多くの住民の反対意見や疑問・疑念を何ら解消する事無く、北杜市自らが半ば高速道路建設を既成事実化するような“活用検討委員会の設置”や“パブリックコメントの実施”を行う事は、民意を無視する行為であり、行政の末端機関である北杜市の役割を軽視しているのではないのでしょうか。高速道路賛成でも反対でも、皆が多様な意見を出せる場所の提供をするのが行政の役割だと思いますがいかがでしょうか。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「八ヶ岳南麓の素晴らしい環境と景観が多くの人々を魅了している」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「国道141号の改良」、「脆弱だと心配されている国道141号の改修」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p>

注:内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.66-2	内容	対応案
	<p>②■まちづくりビジョンの検討の流れと策定経緯の中で、検討委員会は学識経験者、地域の代表、〇〇から構成されている…とありますが、たまたまその年度に地区の区長となった方々が委任されたもので、高速道路についての知識はほとんどない方々がどの程度の意見が言えるのでしょうか。また、これらの方々がどの様な方法で地域住民の意見をまとめられるのか、まとめ切れなかった場合はどの様にされるのか、地区長個人の意見と地域住民の意見は明確に分けて頂く事と、まとめきれない場合はその旨正直に報告して頂きたい旨、徹底して下さいますようお願いいたします。行政区に入らない住民の意見はどの様にするのか、また別荘所有者へのパブリックコメント募集の周知徹底はなされているのか、周知が難しいこのような冬の期間にパブコメの募集をしなくても、別荘所有者が滞在している夏期に行くべきではないのか…、と考えますがいかがでしょうか。</p> <p>③まちづくりビジョンを達成するための道路プランについて中部横断自動車道のルート・構造を検討するための配慮事項（例）自然環境・景観へ配慮するのり面等への植栽の実施や盛土や緩衝帯への植栽等とありますが、人工的な建造物は植物で見えないように工夫すれば(臭い物には蓋をする)自然環境・景観に配慮した事になるのですか?発想が貧困ではないでしょうか?多くの住民が危惧している環境・景観はこの素晴らしい自然を根本的に守りたいのであって、見なければいいというレベルの話ではありません。高速道路が八ヶ岳南麓を横断すれば、多くの森林が伐採され、湧水が枯れてしまうかも知れません。北杜市でも貴重な地(水田)は多くの税金をかけて圃場整備をしていますが、農地は減少し、そこにまた新たに税金を使って道路を作るのです。日本の人口は減少傾向にあります。また、日本の国の借金も1000兆円、国民一人当たり700万円もあると言われてます。そんな状況でまだ道路がほしいのでしょうか?借金が無くなって、人口が増えてからやってもいいのではないですか?足るを知る、日本の素晴らしい言葉です。ルート・構造を検討できるのであれば、多くの住民が自由に使えて、脆弱だと心配されている国道141号の改修を行えば、二重投資も避けられます。国交省も「ミッシングリンク解消のため、一部国道を活用して早期に完成させる事が災害対策になる」と言っています。</p> <p>また、〈平成25年度内にまちづくりビジョン取りまとめ〉となっていますが、後2ヵ月足らずでまとめるのは早すぎるのではないですか?もっと多くの住民の多様な意見を出してもらえよう、北杜市が努力するべきだと思いますがいかがでしょうか?</p>	<p>「地区長個人の意見と地域住民の意見は明確に分けて頂く事」に関しては、まちづくりビジョンの検討・意見集約を進めるなかでは、地区長意見と、地域住民の意見(パブリックコメント)は分けて整理しております。</p> <p>「高速道路が八ヶ岳南麓を横断すれば、多くの森林が伐採され、湧水が枯れてしまうかも知れません。北杜市でも貴重な地(水田)は多くの税金をかけて圃場整備をしています」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」、環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。</p>

注:内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.66-3	内容	対応案
	<p>④「まちづくり計画」概要の土地利用の方向で田園集落ゾーンは美しい農村風景と豊かな田園環境を保全しつつ、地域農業の振興、集落コミュニティの維持を図り、安定した農村環境の維持・継承を進める。と書いてありますが、このゾーンは正しく新ルート上で、「まちづくりビジョン」との整合性が図れないと思えますがどうされるのでしょうか?北杜市民の意見は、北杜市が国土交通省に向けて提案や請願をして下されば、国土交通省も無視できません。是非、ルートの検討に関しても北杜市民の民意が反映されるよう、国土交通省へ積極的な働きかけをお願いいたします。</p> <p>⑤まちづくりビジョンにおける理念について、その検討に先立つ意見の把握を行った、として主なご意見を4ページにわたり掲載され、高速道路整備に対する反対意見や懸念も多数掲載されています。しかしながら「基本理念」地域を『つなぐ』、地域を『支える』、地域に『なじむ』、地域との『協働』による北杜のまちづくり・みちづくりには、そのような懸念は反映することはできません。なぜなら、八ヶ岳南麓を横断する高速道路では、北杜市の素晴らしい景観や環境を破壊してしまいます。観光・生活環境・農業振興・のダメージを与えるこの計画そのものを見直さなければ、「基本理念」を実現することは不可能だと思います。</p> <p>⑥まちづくりビジョンの基本方針・視点については</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1、環境・景観:大型の人工構造物をいくら植物で覆っても、自然は守れませんし、生活環境も悪化します。</li> <li>2、くらし:すでに十分暮らしやすい環境なので、移住者も増加しています。都会のような24時間便利な暮らしを求めて、移住して来るわけではありません。良好な生活環境と高速道路は共存不可能です。</li> <li>3、地域活性化:長坂町・大泉町は北杜市でも人口が増加していますし、多くの若者がお店をオープンさせたり、新規就農を志して移住しています。この自然環境を保全・活用することが地域活性化への近道です。</li> <li>4、観光:北杜市の魅力である自然環境を充実させなければ、観光は促進しない。高速道路が南麓を横切れば景色を見ながら通過するだけ。北杜市へのアクセスは中央道で十分です。</li> </ol> <p>以上、中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)に関する私達の意見です。北杜市は高速道路の推進をしていますが、国策とはいえ、人口減少や国の財務状況により、前線高速道路整備ではなく、一部国道の活用でも高速道路整備とみなされます。地域主権を発揮して、当事者である北杜市も、ルートや構造について積極的に発言し住民の多様な意見を反映させて、まちづくり・みちづくりを検討して頂きます様切にお願いいたします。</p>	<p>「「まちづくり計画」概要の土地利用の方向で田園集落ゾーンは美しい農村風景と豊かな田園環境を保全しつつ、地域農業の振興、集落コミュニティの維持を図り、安定した農村環境の維持・継承を進める。」「まちづくりビジョン」との整合性が図れない」に関しては、上位関連施策等と整合を図りながら(各種団体の取組とも調整を図りながら)進めて参ります。</p> <p>「八ヶ岳南麓を横断する高速道路では、北杜市の素晴らしい景観や環境を破壊してしまう」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」、P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「多くの若者がお店をオープンさせたり、新規就農を志して移住」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に『八ヶ岳南麓の魅力に後押しされた豊かな経済活動の促進』という文言を追記します。</p> <p>「自然環境を保全・活用することが地域活性化への近道です」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「北杜市の魅力である自然環境を充実させなければ、観光は促進しない」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p>

注:内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.83	内容	対応案
	<p>標題:「(仮称)北杜市中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)」のパブリックコメント</p> <p>街作りビジョンのかかげている目標?を達成させるためには中部横断自動車道がなくてはならないもの、ではないと思う。</p> <p>道路を作らなくても地域が活性化する方向はあると思う。</p> <p>つくらないという姿勢をとる方が都会の人を中心に観光的はインパクトがあり印象付けられるのではないか。</p> <p>住民説明会で反対意見が圧倒的に多かったにも関わらず、建設ありきの街作りビジョンはおかしい。</p> <p>少なくとももっと議論が必要だ。</p> <p>これからは今ある道路のメンテナンスを公共事業としてすすめるべきだ。</p> <p>北杜には都会にない物を求める。</p> <p>都会化するのではなく、不便はあってもスローで豊かな暮らしができるという事を都会に向けアピールできるのではないのでしょうか。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「今ある道路のメンテナンス」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に『維持・管理』に関する文章を追記します。</p>

注:内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.86	内容	対応案
	<p>中部横断道活用検討委員会の町づくりビジョンに対するパブリックコメント 中部横断自動車道活用検討委員会作成の町づくりビジョンに対するパブリックコメントです。真摯に取り上げ検討いただけるようお願い申し上げます。</p> <p>1. もし国交省案のルートで建設工事が行われたら、ルート周辺は長期間、掘削、土盛などの工事による騒音やさまざまな工事公害に見舞われる。最近の広島県での国道延伸工事では、裁判所が騒音公害を認定し、賠償金支払いを命じた。広島の場合は都市内の道路工事であるが、森林、別荘、移住者、地元住民の田園地帯を横切る、閑静で自然豊かなここ八ヶ岳南麓では、その影響も被害も一層大きなものと予想される。高速道路を通さない町づくりとしてほしい。</p> <p>2. 北杜市には中央線と小海線という二本の鉄道路線が通っている。春秋の観光シーズン、夏休みシーズンは、鉄道利用者も非常に多い。清里高原や野辺山の日本最高地点などのある小海線は、高原鉄道として近年再び人気が高まっている。なぜ道路ばかりに目がいて、鉄道のことを無視するのだろうか。地元が車依存社会になっていて鉄道に関心がないことがその一因であろう。首都圏を中心に車依存社会からの脱却は確実に進んでいる。カーシェアから、鉄道利用による旅行へと少しずつシフトしている。市内を通っている二本の鉄道路線にもっと注目すべきであり、町づくりの中にきちっと位置づける必要がある。このことに一言もないこの町づくりビジョンは抜本的に見直してほしい。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「ルート周辺は長期間、掘削、土盛などの工事による騒音やさまざまな工事公害に見舞われる」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「森林、別荘、移住者、地元住民の田園地帯を横切る、閑静で自然豊かなここ八ヶ岳南麓では、その影響も被害も一層大きなものと予想される」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「清里高原や野辺山の日本最高地点などのある小海線は、高原鉄道として近年再び人気が高まっている。なぜ道路ばかりに目がいて、鉄道のことを無視するのだろうか」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「視点①:観光拠点へのアクセス」に、『既存の公共交通網の活用』という文言を追記します。</p>

注:内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.91	内容	対応案
	<p>私は*****の***です。            仮称)北杜市中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョンのパブリックコメントを募集していたので感じたことを応募します。</p> <p>意見要望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北杜市でつくる計画すべてに言えると思うが、最上位計画が「北杜市総合計画～人と自然文化が躍動する環境創造都市北杜市」であるとする。当然この計画に沿ってまちづくりビジョンも企画されていかなければ、バラバラとなって混乱を招き意味を失う。</li> <li>・そういう視点で計画を見ていくと、文化の側面がまったく計画に無い。文化の無い北杜市のまちで良いのかと感じる。</li> <li>・また30年後、50年後の市の姿を想像するに、市民や企業の参画が必ず必要になる。どのように関わって行くのか、関わって欲しいのかが見えない。</li> <li>・中部横断自動車道は社会資本であるから市内のエリアで主要道路からも利用可能な、サービスエリアもしくはパーキングエリアを確保して欲しい。スマートインターを併設すればインターチェンジ設置よりもむしろ良い。そこで八ヶ岳パーキングとも連動して、北杜市の魅力、情報を発信。市内の産物も販売しブランド化、産地化を図る。</li> <li>・沿線の産業との連携、BtoBにより経済の活性化、地域一体となつてのPR。取り敢えず感じたままに。</li> </ul>	<p>頂いたご意見の中で、「最上位計画が「北杜市総合計画～人と自然文化が躍動する環境創造都市北杜市」であるとする。当然この計画に沿ってまちづくりビジョンも企画されていかなければ、バラバラとなって混乱を招き意味を失う」という意見についてですが、北杜市まちづくりビジョンは、北杜市の既定計画を踏まえつつ、中部横断自動車道の整備を見据え、地域の現況や特色を整理した上で、地域活性化などに資するまちづくりのあり方や地域の取組の指針となるものです。</p> <p>「文化の側面がまったく計画に無い」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に、『文化・芸術』に関する文章を追記します。</p> <p>「市民や企業の参画が必ず必要になる。どのように関わって行くのか、関わって欲しいのかが見えない」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に、『民間企業や一般市民との協働による観光振興の取組』に関する文章を追記します。</p> <p>「市内のエリアで主要道路からも利用可能な、サービスエリアもしくはパーキングエリアを確保して欲しい。スマートインターを併設すればインターチェンジ設置よりもむしろ良い。そこで八ヶ岳パーキングとも連動して、北杜市の魅力、情報を発信。市内の産物も販売しブランド化、産地化を図る」、「沿線の産業との連携、BtoBにより経済の活性化、地域一体となつてのPR」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p>

注:内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.100-1	内容	対応案
	<p>「まちづくり」には、「行政の住民に対する誠実な対応」が根底に必要になります。住民と行政の間に「不信感」があっては、より良いまちづくりはできません。またまちづくりには、目に見えるものばかりではなく、目に見えない「住民の精神的なもの」が最重要になります。</p> <p>そして行政は住民に対して、誠意を持って偽りなく、平等に、アンケートや調査を行った上でこそ、「素晴らしいまちづくり」は可能である。</p> <p>住民たちや別荘所有者や全国のハケ岳ファンと十分に意見交換の場や時間を設けて、正直な意見を誠実に取り入れることをしなくては、よりよいまちづくりなど成功しません。</p> <p>北杜市公務員の方達は、本気で「よりよいまちづくり」を目指していますか？住民や別荘所有者、全国の数万人のハケ岳ファンは注目しています。</p> <p>ごまかしや不正は、今の時代は隠しきれません。</p> <p>「より広い視野」を持って、全市民を配慮して、まちづくりを進めて行かなければならない。</p> <p>毎年、国交省の方に同じ質問をしています「なぜ、この北杜市に人が最も少ない冬季に、アンケート調査やパブリックコメントを募集するのですか？」よほど自信がなくて、隠密に済ませたいアンケート調査なのでしょうね。</p> <p>パソコンを持っていない老人や、地域の自治体に属していない住民たちは、特に寒いこの時期は外出もできないので、このような中部横断道に関するパブリックコメント募集のを知ることはできません。</p> <p>高速道路みたいな大きな問題に関するアンケート調査なのに、関係住民に知らせることができなかったのは、北杜市側の不手際と落ち度ですね。私達の血税が膨大に使われる問題なので、そんないいかげんな住民調査だけで済まさないで下さい。</p> <p>平成24年9月の「地方小委員会ワーキンググループ会議」で、****がおっしゃったように、「国交省が平成24年に北杜市で行った『ちやちなアンケート調査』の内容と、集計のやり方は不誠実であり、ひどすぎる！！」と****も呆れておられました。</p> <p>****を始めとして北杜市民や、別荘所有者たち、建設反対に署名した1万4千人は強い憤りを感じている。よって、この度のルート変更後の「B案ルートに対する住民アンケート」を改めて行う義務が、国交省や山梨県、北杜市にはある。また****も今年の年頭に「広報ほくと」で語っていたように「現在は北杜市は財政難」である。どれだけの借金を、北杜市民は不本意に背負わなければならないのでしょうか？</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p>

注：内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.100-2	内容	対応案
	<p>北杜市内の中部横断自動車道は『141号線の整備拡充か、141号線沿いに高規格道路化』にした方が、大幅に経費を削減できるので、財政的にも景観的にも良く、そして何よりも「住民にとって一番利用価値の高い形」になる！石田委員長も「北杜市内の中部横断道は、高速道路ではなく、国道141号線に沿った高規格道路にするのが一番よい。」とおっしゃっていた。</p> <p>30年も前に出された中部横断自動車道の高速作り案を、なぜ今実行しなければならぬのか？？？</p> <p>住民たちは、「****がなぜ説明して下さらないのか？」大いに疑問である。是非、****に説明会を開いていただきたい。</p> <p>北杜市の生命線である観光・農業・商業のためにも、これ以上、北杜市の環境の素晴らしさを失ってはならない。</p> <p>またB案ルート沿いには、肺癌治療の為や、化学物質過敏症のために、大気汚染や化学物質の影響が少ないという理由で、わざわざ移住してきた病人の住人も多い。そのような病人の方達の意見を無視して、素晴らしいまちづくりができるのでしょうか？またもしその病状が悪化した場合の補償は、どこがしてくれるのでしょうか？</p> <p>また「震災対策の為の高速道路」という子供だましの常套文句は、今や全国で問題視されているが、本当に住民の生命の危機を考えているならば、「新しい高速道路を作る前に、即刻北杜市内の国道141号線を整備改修すべきである」141号線には崩落の危険性などがある場所が多く見られる。</p> <p>この141号線の危険な状態は、*****の****の***も、平成25年2月の住民意見交換会で認めている。北杜市には作られてから半世紀(50年)を超えている橋などのインフラがどれほどあるのか、県や市は把握しているのだろうか？老朽化インフラの改修を急ぐ責任が山梨県や北杜市には大いにある。それとも再び「笹子トンネル事故」のような惨事が起こるまでは、見て見ぬふりをするのだろうか？</p> <p>そのようなことが全国民に許されるはずがない。老朽インフラ整備にどれだけの経費が必要なのか、北杜市は算出できているのだろうか？</p> <p>来年度の老朽インフラ整備のための予算額を計上し、市民に発表していただきたい。</p> <p>高速建設ではなく、まずは老朽インフラの改修と整備を行うことが、「北杜市のまちづくり」の第一歩であると言えよう。</p> <p>山梨県の***の方達は、『現代は「インフラを『作ろう』という時代から、老朽インフラを『繕う』時代に移行したこと』を、早く自覚していただきたい。</p>	<p>なお、頂いたご意見の中で、「141号線の整備拡充」、「141号線には崩落の危険性などがある場所が多く見られる」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「北杜市の生命線である観光・農業・商業のためにも、これ以上、北杜市の環境の素晴らしさを失ってはならない」、「大気汚染や化学物質の影響が少ない」、「自然のそのままの姿を愛して、きれいな空気を求めて、観光に来たり、移住して来たり、登山をしたりする人達は北杜市に来るのですよね?」、「景色だけではない、目に見えない「空気」や「静けさ」、そして美しい星を見るための「夜の暗さ」が重要なのです!!」、「高速なんかできたら、北杜市の貴重な資産が失われてしまいます」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」、P13環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p><b>また、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」、環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に『澄んだ空気』という文言を追記します。</b></p>

注:内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.100-3	内容	対応案
	<p>一部の利権者による、目先の私利私欲や地位名誉のために、これ以上北杜市の借金を増やしたり、北杜市民の財産を奪わないでほしい。            少子化時代なのに、これ以上借金を増やしてしまったら、将来もう北杜市に住みたいと思わなくなるであろう。            すると北杜市の過疎化はさらに進んでいくであろう。            明野処分場のように、55億円という「とんでもない額の借金」を残して、責任が取れないような無責任で先が計算できない**たちは、恥を知り、新しいまちづくりに参加しない方がよろしいのではないか？            北杜市役所の皆さん、どうか未来に禍根を残さないような選択をする勇氣を持ってください。            北杜市に安心して住めるようになるかどうかは、今の大人達の責任です。            自然のそのままの姿を愛して、きれいな空気を求めて、観光に来たり、移住してきたり、登山をしたりする人達は北杜市に来るのですよね？            北杜市に高速道路ができて喜ぶ人は「ただ長野に早く行きやすくなる」という理由だけですよね。            北杜市は通過されるだけです。            ****、公務員の皆さん、なぜ観光客や移住者が北杜市に増えているか、その理由を当然ご存知ですよね？            景色だけではない、目に見えない「空気」や「静けさ」、そして美しい星を見るための「夜の暗さ」が重要なのです！！            だとしたら、高速なんかできたら、北杜市の貴重な資産が失われてしまいます。            どうか「北杜市内の中部横断道は、高速道路ではなく、国道141号線を整備拡充するか、141号線に沿って高規格道路化を進めること」を希望します！            北杜市に高速道路は、これ以上必要ありません。以上、よろしくお願い申し上げます。</p>	<p>「これ以上北杜市の借金を増やしたり、北杜市民の財産を奪わないでほしい」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際、経済性にも配慮し、検討して参ります。</p> <p>「北杜市は通過されるだけです」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p>

注: 内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.104	内容	対応案
	<p>全国で官民等の協働を旗印に、「まちづくり」、「景観」といった国のソフト面のあり方を問うビジョンが作られつつあるのは、一般市民の一人として好感を抱いています。何処に居住していても、自分の地域が環境や景観に無関心で、住民同士が殺伐とした関係であれば、誰も「おらが自慢のまち」とは感じられないでしょう。</p> <p>今回のパブリックコメントには、北杜市を愛する市民からたくさんの意見が寄せられることと思いますので、あえて重複する可能性を避け、私なりの感想を述べさせて戴きます。</p> <p>目下私は、2週間ほどの予定で病気治療のために新横浜に滞在中です。此処は、数十年前は広大な緑地と農地があった地域でした。それを巨大なコンクリートのスタジアムやアリーナ、ホテル、ビル群が建ち並ぶ小都会へと造り変えたのは、当時新時代を切り拓いた新幹線の新駅建設です。当然のことながら、人口も飛躍的に増加したはずです。</p> <p>日本には類似例があちこちにあるでしょうし、「それなりに成功した都市づくり」として幸運なケースだったと思います。しかし、この先行き不透明な時代に、北杜市のようなマイナーな自治体の場合はどうでしょうか。</p> <p>元々見るべきものがほとんどなかったような地域ならいざ知らず、合併後の北杜市には、豊かな自然だけでなく、縄文時代の遺跡群を筆頭として魅力ある観光資源が溢れています。一度根幹を破壊すると二度と蘇らない地域があるとしたら、それは、私たちの北杜市に他なりません。</p> <p>新横浜から青い山々は見え、寒い日にも雪景色は似合いません。大自然が織りなす色彩なしに眺める小都会はただの眺めにすぎず、景観とも風景とも呼び難い味気ないものです。</p> <p>中部横断道建設を「見据えた」まちづくりとは、何を見、聞き、感じてのことでしょうか。</p> <p>あまりにも想像力を欠き過ぎてはいないでしょうか。北杜市には、むしろ日本随一の山岳景観を新しく創造する気概を持って、北杜ならではのユニークな観光産業興しに取り組むなど、民間企業や起業家、一般市民によるパワーを醸成して戴きたいと願って止みません。</p> <p>以上。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「北杜市には、豊かな自然だけでなく、縄文時代の遺跡群を筆頭として魅力ある観光資源が溢れています。」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「日本随一の山岳景観を新しく創造する気概を持って、北杜ならではのユニークな観光産業興しに取り組むなど、民間企業や起業家、一般市民によるパワーを醸成して戴きたいと願って止みません」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に、『民間企業や一般市民との協働による観光振興の取組』に関する文章を追記します。</p>

注: 内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.105	内容	対応案
	<p>まず、“高速ありき”のまちづくりには賛成できません。新ルートに関するアンケート調査を、平成23年と平成24年と同様に北杜市全体の住民や別荘の人達に実行していただきたいです。</p> <p>八ヶ岳南麓への高速建設は、環境・景観・観光に多大なダメージを与えるだけでなく、北杜市の少子高齢化により、将来、子供達に多額の借金を残すことになります。</p> <p>我が家には、二人の子供がおりますが、「この先、八ヶ岳南麓に高速道路ができたり、借金ばかり負わされるならば、将来は北杜市に住まない。」と申してません。</p> <p>高速道路計画に対して、中学生や高校生の子供達は冷静に判断し、失望したり、あきれています。また大人達の無責任さを嘆いています。</p> <p>どうか全国の子供達の財産である自然や環境や美しい景色を奪わないで下さい。</p> <p>全国の八ヶ岳ファンが愛する雄大な自然や、景色、きれいな空気、暗い夜空に輝く星、そして静けさ。それらは町や都会では手に入らないのです。</p> <p>私達人間が「壊さないように努力すること」が、最も大切な「まちづくり」だと思います。「私達も自然の一部であること」を再認識した上で、みんなで「まちづくり」をしましょう。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「八ヶ岳南麓への高速建設は、環境・景観・観光に多大なダメージを与えるだけでなく、北杜市の少子高齢化により、将来、子供達に多額の借金を残すことになり」、「自然や環境や美しい景色を奪わないで下さい」、「私達人間が「壊さないように努力すること」が、最も大切な「まちづくり」だと思います」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」、P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「八ヶ岳南麓に高速道路ができたり、借金ばかり負わされるならば、将来は北杜市に住まない。」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際、経済性にも配慮し、検討して参ります。</p> <p>「全国の八ヶ岳ファンが愛する雄大な自然や、景色、きれいな空気、暗い夜空に輝く星、そして静けさ。それらは町や都会では手に入らないのです」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」、環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に『澄んだ空気』という文言を追記します。</p>

注:内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.108-1	内容	対応案
	<p>2014年1月31日 北杜市まちづくりビジョン パブリックコメント 公益財団法人キープ協会</p> <p>(1) 環境 1) 環境教育 1: 人と環境の共生社会を創るための環境教育を推進すること 2: 豊かな自然＝森・川・田んぼ・湧水等を用いた体験学習の推進。 3: 貴重な動物と人との共生から学ぶ教育の推進 4: 自動車道に設置するサービスエリアを環境教育の場とする 2) 環境保全 1: 動物の移動経路を確保し、保全すること     アニマルパスウェイの普及とモニタリングの実施をすること 2: 環境を守るための基礎的で継続的な環境調査の実施 3: 重要で、生存に必要な自然環境の保護と調和 4: 豊かな生物多様性の保全 5: 希少野生生物の保存と共生の具体的施策の確立 6: 里山・森環境を支える生物の保全 4) 自然との共生社会の確立 1: 持続可能な社会の確立 2: シカの適正な管理: 森と人の暮らしを減ぼす要因の管理 3: サルの適正な管理</p> <p>(2) 景観・ランドスケープ 1: 豊かな環境を包括し、利用し、保護する総合的なランドスケープ案の確立 2: 優れた山岳景観・農村景観と渓谷景観の保全 3: 多種多様な生物が造り出す「生物景観」の創造と確立 4: 良好な生活環境への配慮 5: 牧場景観・高原景観の保全</p>	<p>頂いたご意見の中で、「人と環境の共生社会を創るための環境教育を推進」、「豊かな自然＝森・川・田んぼ・湧水等を用いた体験学習の推進」、「貴重な動物と人との共生から学ぶ教育の推進」、「自動車道に設置するサービスエリアを環境教育の場とする」、「動物の移動経路を確保し、保全すること」、「アニマルパスウェイの普及とモニタリングの実施をすること」、「環境を守るための基礎的で継続的な環境調査の実施」、「小水力発電エネルギーの普及と推進。山麓の水路の利用」、「風力発電エネルギーの普及と推進(道路沿いにも設置)」、「太陽光発電の家庭化の推進と道路沿いへの設置」、「企業とNPO・行政との連携で新たな価値を顧客の創造」、「豊かな環境を包括し、利用し、保護する総合的なランドスケープ案の確立」、「多種多様な生物が造り出す「生物景観」の創造と確立」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。 <b>また、「環境教育」については、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点④: 貴重な動植物との共存」に、『また、貴重な動植物との共存への取組を通し、環境教育の広がりなども期待されます。』という文章を追記します。</b></p> <p>「重要で、生存に必要な自然環境の保護と調和」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①: 豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「豊かな生物多様性の保全」、「希少野生生物の保存と共生の具体的施策の確立」、「里山・森環境を支える生物の保全」、「シカの適正な管理」、「サルの適正な管理」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点④: 貴重な動植物との共存」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「優れた山岳景観・農村景観と渓谷景観の保全」、「牧場景観・高原景観の保全」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②: 優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。 <b>また、P13環境・景観「視点②: 優れた山岳景観と農村景観の保全」を『優れた景観の保全』とし、解説文を『北杜24景に代表される優れた山岳景観、それらを背景とした農村景観や高原の眼下に広がる渓谷などの景観資源を守り、活用していくため、色彩の工夫、多種多様な景観になじむつくりにするなど、周辺の風景と調和したまちづくり・みちづくりの取組が必要と考えます。』に修正します。</b></p>

注: 内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## パブリックコメントへの対応案

No.108-2	内容	対応案
	<p>(3)くらし</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1)再生可能・持続可能エネルギー社会の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>1:小水力発電エネルギーの普及と推進。山麓の水路の利用</li> <li>2:風力発電エネルギーの普及と推進(道路沿いにも設置)</li> <li>3:太陽光発電の家庭化の推進と道路沿いへの設置</li> </ul> </li> <li>2)豊かな水を守るための水源地と管理・保護と水源涵養林の保全</li> <li>3)地産地消のネットワークの発展で豊かな食の発展</li> </ul> <p>(4)地域活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1)豊かな農産物による都会市民とのネットワークの確立</li> <li>2)案内標識の充実</li> <li>3)企業とNPO・行政との連携で新たな価値を顧客の創造</li> <li>4)高速道路のサービスエリアへの地元参画の取組の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>地元による地域コンシェルジュの配置、地元野菜の販売など</li> <li>地域文化の展示・案内ビデオ、豊かな自然の展示と紹介ビデオ</li> </ul> </li> </ul> <p>(5)観光</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1)日本海から太平洋までの経路の視野で観光を進める</li> <li>2)首都圏⇒富士山地域⇒北杜市(八ヶ岳)⇒軽井沢⇒首都圏 のサークルの観光の視野で進める</li> <li>3)地域のエコツーリズムの発展               <ul style="list-style-type: none"> <li>農体験、森体験、川体験、田んぼ体験、</li> </ul> </li> <li>4)自然と文化と芸術・食・農を繋げた観光の創造とアクセスの確保               <ul style="list-style-type: none"> <li>1:自然(森・高原・渓谷・田んぼ・湧水)・文化(縄文・絵本・博物館)</li> <li>2:おかぐらの実体験。地域活性化ともなる</li> </ul> </li> <li>5)博物館・美術館・絵本美術館などを拠点とした観光の確立               <ul style="list-style-type: none"> <li>やまねミュージアム、平山美術館など多数との連携</li> </ul> </li> <li>6)山麓に棲む多種多様な芸術家の観光化               <ul style="list-style-type: none"> <li>おらんうーたんと連携</li> </ul> </li> </ul> <p>以上</p>	<p>「良好な生活環境への配慮」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「豊かな水を守るための水源地と管理・保護と水源涵養林の保全」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「地産地消のネットワークの発展で豊かな食の発展」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>また、上位関連施策等と整合を図りながら(各種団体の取組とも調整を図りながら)進めて参ります。</p> <p>「豊かな農産物による都会市民とのネットワークの確立」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「視点①:六次産業化・農業と観光の融合による地域活性化」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「案内標識の充実」、「高速道路のサービスエリアへの地元参画の取組の推進」、「地元による地域コンシェルジュの配置、地元野菜の販売など」、「地域文化の展示・案内ビデオ、豊かな自然の展示と紹介ビデオ」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P19観光「視点③:周遊・滞在(型)観光を促進する情報発信の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「日本海から太平洋までの経路の視野で観光を進める」、「自然と文化と芸術・食・農を繋げた観光の創造とアクセスの確保」、「博物館・美術館・絵本美術館などを拠点とした観光の確立」、「やまねミュージアム、平山美術館など多数との連携」、「山麓に棲む多種多様な芸術家の観光化」、「おらんうーたんと連携」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「視点①:観光拠点へのアクセス」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「首都圏⇒富士山地域⇒北杜市(八ヶ岳)⇒軽井沢⇒首都圏 のサークルの観光の視野で進める」、「農体験、森体験、川体験、田んぼ体験」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p>

注:内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## 行政区長から寄せられた意見への対応案

No.4	内容	対応案
	<p>1 中部横断自動車道長坂JCTができることは、北杜市の発展には大きな夢が期待できるものと思います。長坂インターを核に各町への道路網の整備をもう一度見直し、できるだけカーブをぬき、大型自動車がゆっくりすり合いのできる車道の整備が必要と思われます。特に、国道20号線に接続する白州地区から長坂町への道路はカーブが多いので改善し、中部横断自動車道と国道20号線の連携を強化してもらいたい</p> <p>2 中部横断自動車道が開通すれば、通年大勢の観光客が見込まれます。一度来た人がまた来たいと印象づけるには、「もてなし」の接待が大切であります。只今、市内には道の駅や直売所がありますが、ほとんどの所で観光案内は、片手間であり、商品に専念しております。開通後には、沢山の来訪者が訪れることが予測されますので、道の駅等には、観光案内のできる専従の市嘱託の職員を配置し、親切丁寧な北杜市の観光等の案内ができる体制づくりが重要だと思います</p> <p>3 中部横断自動車道の計画は2路線と聞いておりますが、将来に向かっては、4車線にできるよう用地だけは、最初から買収した方がよいと思います</p> <p>4 北杜市の定住人口を増やす対策として、空き家バンク制度の充実を強化し、都市住民の受け入れに重点を置き、人口の増加を図るものとする～地域の区長等の協力体制の組織づくりも大切だと思います</p> <p>5 宿街道の石畳み・電柱の移設か埋設・宿街道の景観整備により、昔の歴史街道の面影を復元願いたい</p> <p>6 大小河川が荒れて山になっている。白州の河川は、大木が繁茂し、台風時の大雨は大変心配です。地域の奉仕活動にも呼びかけ、川をきれいにしたい</p>	<p>頂いたご意見の中で、「長坂インターを核に各町への道路網の整備をもう一度見直し、できるだけカーブをぬき、大型自動車がゆっくりすり合いのできる車道の整備が必要と思われます」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「特に、国道20号線に接続する白州地区から長坂町への道路はカーブが多いので改善し、中部横断自動車道と国道20号線の連携を強化してもらいたい」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参るとともに、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p><b>「もてなし」の接待が大切」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に、『市民の『もてなし』の気持ちを背景に』という文言を追記します。</b></p> <p>「道の駅等には、観光案内のできる専従の市嘱託の職員を配置し、親切丁寧な北杜市の観光等の案内ができる体制づくりが重要だと思います」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P19観光「視点③:周遊・滞在(型)観光を促進する情報発信の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「空き家バンク制度の充実を強化」に関しては、上位関連施策等と整合を図りながら(各種団体の取組とも調整を図りながら)進めて参ります。</p>

注:内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## 行政区長から寄せられた意見への対応案

No.5	内容	対応案
	<p>自然環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境に配慮した工法</li> <li>・無秩序に森林が伐採され多くの別荘、新規永住者がいる。自動車道を造ってもななら影響はない。</li> </ul> <p>商工業の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北杜市が通過地点になることは避けたい。インターチェンジ設置、市民が知恵を絞り若者の定住化、物流の拠点づくり等。</li> </ul> <p>農業振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米、野菜等の都市部への短時間での輸送が可能になる。</li> </ul> <p>観光振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの観光客の増加が見込まれる。ただし、今から地道なPR活動が必要。クリアしなければならない様々な問題があると思うが、中部横断自動車道は市民の長年の夢であり早期開通を切に願う。</li> </ul>	<p>頂いたご意見の中で、「自然環境に配慮した工法」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参るとともに、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「インターチェンジ設置」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P19観光「視点②:豊かな景色を満喫できる場の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「市民が知恵を絞り若者の定住化」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P17地域活性化「視点②:商工業の活性化」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「物流の拠点づくり等」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P17地域活性化「視点②:商工業の活性化」に、『物流の拠点づくり』という文言を追記します。</p> <p>「米、野菜等の都市部への短時間での輸送が可能になる」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「地道なPR活動が必要」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P19「視点③:周遊・滞在(型)観光を促進する情報発信の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p>

No.11	内容	対応案
	<p>※武州・白州筋への道案内とか、国道20号線に繋がる直結道を検討してほしい。</p> <p>※中部横断道はハヶ岳筋がメインで、甲州街道沿いはカヤの外になってしまう。宣伝も兼ねた看板の設置も必要かと思う。</p> <p>※太平洋・日本海にアクセスが便利になるので、地場産業の売り込みは勿論だが、逆に新鮮な海産物を地元住民に提供する場も設けてはどうか。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「武州・白州筋への道案内とか、国道20号線に繋がる直結道を検討してほしい」、「宣伝も兼ねた看板の設置も必要かと思う」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「視点①:観光拠点へのアクセス」、P19観光「視点③:周遊・滞在(型)観光を促進する情報発信の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「地場産業の売り込みは勿論だが、逆に新鮮な海産物を地元住民に提供する場も設けてはどうか」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に、『他地域の特産品の呼び込み』という文言を追記します。</p>

注:内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## 行政区長から寄せられた意見への対応案

No.31	内容	対応案
	<p>中部横断自動車道(長坂～八千穂)間の早期実現は北杜市はもとより、山梨県にとっても重要だと思われます。山梨県は東京都に隣接他の県から見ると山岳をひかえている関係でおかれている部分がかかなりある事を感じます。高速道の接地により、より一憩の文化の発展を切に願う者です。自然を最大限残しながら人の交流をさらに深め、北杜市全体の地域性を生かした歴史文化、自然、景観の良さをさらに推し進めていただきたいものです。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「より一憩の文化の発展を切に願う」、「北杜市全体の地域性を生かした歴史文化」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に、『文化・芸術』に関する文章を追記します。</p> <p>「自然を最大限残しながら人の交流をさらに深め」、「自然、景観の良さをさらに推し進めていただきたい」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」、P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。</p>
No.42	内容	対応案
	<p>環境に配慮した道路であって、水・動植物の保全も課題の一つである、などということは、北杜市に住む者・観光に訪れる方々の、誰もが考えていることであり、今からの道路や開発は、そのことを無視しては絶対にできないということは、当然のことである。また、そのように計画、整備されていくと思っております。高架橋のような高い道路はできるだけさけて、平坦な道路であるべきである。環境は観光の原点であるが、人と人との接点が重要であり、地域住民が、楽しく安心して生活のできる場所でなければ観光地とは言えない。その点で道路の果たす役割は重要であり、便利で利用しやすい道路は誰もがのぞむところである。</p> <p>一般道への接点はできるだけ単純にして、141号へつなげてほしいものです。昭和40・50年代に野菜の大型トラックが、カーブから谷底へ転落した処を年に数回見たことを思い出します。良い道路があれば、流通がよくなることは、当然のことである。</p> <p>141号の改良ということも理解はできるが、あくまでも改良の方法によると思います。土地買収もかなりたいへんであろう。現状の141号の衰退された状況はいろいろな要素が重なっているであろうし、復活の機会になってくれることを期待しています。</p> <p>最高の景観地点にSA・PAを計画してほしいです。国の経済状況や人口減少を懸念しての反対もあるが、それは市だけで出来ることではないし、国会で議論してもらいたい。</p> <p>何ごとも反対意見のほうが大きく、正論のように聞こえる節はあるが、決してそのようなことはなく、医療や防災面からも、また、清里発展のためにも、早期実現を望んでおります。頑張ってください。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「環境に配慮した道路であって、水・動植物の保全も課題」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「高架橋のような高い道路はできるだけさけて、平坦な道路であるべき」、「一般道への接点はできるだけ単純にして、141号へつなげてほしい」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「地域住民が、楽しく安心して生活のできる場所でなければ観光地とは言えない」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に『安全性向上』という文言を追記します。</p> <p>「昭和40・50年代に野菜の大型トラックが、カーブから谷底へ転落した処を年に数回見たことを思い出します」、「141号の改良」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「良い道路があれば、流通がよくなる」、「清里発展のため」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「最高の景観地点にSA・PAを計画してほしい」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P19観光「視点②:豊かな景色を満喫できる場の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「医療や防災面」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「基本方針:安全・安心で快適なくらしのために」に基づき、取り組んで参ります。</p>

注:内容は原文のまま。個人名称等は\*\*\*で表記。

# 素案に対する意見把握について

## 道路プラン策定の際の参考意見としたパブリックコメント 該当箇所のみ抽出(1/2)

NO.	内容
5	「ハヶ岳南麓の魅力を十分に味わえるように、遊歩道を整備することが欠かせません」、「遊歩道の整備を実施しつつ」
8	「JR最高地点と言われる野辺山のように氷点下20度をこえる国内でもっとも厳冬期の厳しい気象条件の中を通過する高速道路はリスクが高く災害の拠点となりかねません。」
10	「中部横断道がB案ルートを通るにあたり、景観などの環境への対応策は具体化していない。」、「懸念されている景観などの自然環境への影響について、B案にこだわらず、具体的な対策を検討すべきである」、「国道141号は、小手指の坂、弘法坂など地形の厳しい箇所を通過しているため、災害に影響されやすい面がある」、「須玉町若神子地区の人口集中地区での通過、高根町箕輪地区では歩行者の箕輪バイパス横断途中での交通事故の存在、高根町長沢地区では141号現道拡幅の改良計画が進捗中であるため、新たに国道141号沿線での計画は困難」
16	「冬場はプロのドライバーが雪の山岳高速道路を危険を侵し選ぶとは到底考えられないことです」
23	「工事場周辺は、騒音とダンプの通行、ホコリで生活環境が悪くなる」、「1360mの高地に高速を通して冬場の安全は守れるのか」、「アクセスについては、清里ICが良い」
24	「環境・建設費の削減・ハヶ岳地域の過疎化の防止一等々のメリットが上げられます」
31	「南麓の景観保全や地域生活への影響を最小とする配慮・工夫がいる」、「南麓ルートは、全線地下または暗渠で作る。あるいはレインボーラインよりずっと上の森林地帯に造る」、「農業用水路は多自然型の用水路として、積極的な水辺環境整備を行うこと」、「ハヶ岳南麓は、晴天が続いても河川の水が枯れることがないほど湧水が豊富である。この豊かな水が南麓の水田を支えている。農業用水路の整備があちこちで行われているが、コンクリートのU字溝やコンクリートの三面張り工法が行われている。農業用水路の果たす機能はただ水田に水を運ぶためのものだけではなく、水生生物の生息などの自然環境や、地域の環境・景観に重要な役目を負っている。国(農水省、環境省、国交省)も自然豊かな農業用水路を推奨している時代」、「これから改修する農業用水路は三面張りやU字溝ではなく多自然型の工法を採用すること。周辺地域に比べ北杜市はこうしたことへ配慮する姿勢が遅れているのではないかと。多様な自然環境・景観保全を町づくりビジョンの第一に挙げているのならこうしたことも明文化すべきではないか」
33	「けばけばしい看板や廃屋を撤去し、自然を感じ心地よさを楽しめる道路に改善することが、質の高い観光客を引きつけるポイントになります。景観に配慮したモデル道路ができれば、全国的な話題を呼び、この地域の魅力が増し、継続的な経済効果が期待できます」
36	「清里地域へのIC設置が想定されるが、現在の清里周辺は観光地としての、かつての繁栄の陰は無く衰退してきている」
38	「工事場周辺は、騒音とダンプの通行、ホコリで生活環境が悪くなる」、「高速道路の保守費用は、ずっと続く」

# 素案に対する意見把握について

## 道路プラン策定の際の参考意見としたパブリックコメント 該当箇所のみ抽出(2/2)

NO.	内容
46	「森林整備や農薬の制限、荒れた登山道の整備」
65	「国道141号線は北杜市の住民にとっても、北杜市周辺の住民にとっても大変重要な道路である事は誰もが認める所です。しかしこの道路は現在狭い所、曲がりくねった所などがあり、生活道路としての機能が十分ではありません。安心して住める町、住みたくなる町作りなど住民の生活を最優先すべき課題だとすれば、この141号線の整備が最優先されるべきです。従って国道141号線を生活道路および周辺地域との交通の主要道路と位置つけて(現在もそのような位置付けですが)そのための整備をする事が現在最も必要とされている事です」
74	「生活圏への影響を考慮して騒音防止フェンスなどが必要となり、風景が損なわれます。高速をドライブする者も一般の生活からも同様損なわれます。よってリゾートとしての観光資源、環境が犠牲となってしまいます。」「もう一方では観光資源と住環境を優先させた場合、清里エリアでは現状の主な観光スポットより遠巻きに高速道路を設ける事になるので利便性と効率は損なわれる。その他のエリアでは生活圏の密度が高いのでそれらを避けてつくる事は出来ず」
86	「ルート周辺は長期間、掘削、土盛などの工事による騒音やさまざまな工事公害に見舞われる」
87	「景観形成の経済的価値も試算する必要があると言えます」
89	「社会資本整備審議会道路分科長は「すべてハイグレードな高速道路である必要は無い、道路にもグラデーションがあってもいい」と言われています」、「日本一高所を走る高速道路となりますが、説明会では冬季の懸念には全く触れていません」
91	「市内のエリアで主要道路からも利用可能な、サービスエリアもしくはパーキングエリアを確保して欲しい。スマートインターを併設すればインターチェンジ設置よりもむしろ良い。そこでハケ岳パーキングとも連動して、北杜市の魅力、情報を発信。市内の産物も販売しブランド化、産地化を図る」、「沿線の産業との連携、BtoBにより経済の活性化、地域一体となつてのPR」
107	「花の森公園及び道の駅「南きよさと」の施設を、サービスエリアと併用設置すること」、「当施設直近の場所に、インターチェンジを設置すること」
108	「人と環境の共生社会を創るための環境教育を推進」、「豊かな自然＝森・川・田んぼ・湧水等を用いた体験学習の推進」、「貴重な動物と人との共生から学ぶ教育の推進」、「自動車道に設置するサービスエリアを環境教育の場とする」、「動物の移動経路を確保し、保全すること」、「アニマルパスウェイの普及とモニタリングの実施をすること」、「環境を守るための基礎的で継続的な環境調査の実施」、「小水力発電エネルギーの普及と推進。山麓の水路の利用」、「風力発電エネルギーの普及と推進(道路沿いにも設置)」、「太陽光発電の家庭化の推進と道路沿いへの設置」、「企業とNPO・行政との連携で新たな価値を顧客の創造」、「豊かな環境を包括し、利用し、保護する総合的なランドスケープ案の確立」、「多種多様な生物が造り出す「生物景観」の創造と確立」

# 素案に対する意見把握について

## 道路プラン策定の際の参考意見とした行政区長から寄せられた意見 該当箇所のみ抽出

NO.	内容
4	「特に、国道20号線に接続する白州地区から長坂町への道路はカーブが多いので改善し、中部横断自動車道と国道20号線の連携を強化してもらいたい」
5	「自然環境に配慮した工法」
6	「自然環境は環境、景観に良く、利便性のある道路」、「周辺に調和した構造」、「ライブカメラを設置し、近くの観光地に誘導する事も良いと思います」
22	「ICを清里周辺に誘致」
27	「眺望が最低確保できるような構造」
30	「観光で来た方達がゴミを捨てていくのではないですか」
37	「市内の自動車道IC(須玉、長坂、小淵)の出入口付近のコンビニ駐車場内一部を借用し(6箇所程度)旧町村へのルートと付近の商工業地及び観光スポットなどの案内板を設置することにより観光客を誘導」
38	「地域の特性・利便性・観光などさまざまな役割を考えると維持・管理の問題はあるがジャンクションが自由に出入りのできる自動車道がよい」、「名称は長坂の坂と野辺山の野辺で坂野辺自動車道とする」、「ジャンクションは話し合いで2~3ヶ所がよい」
39	「自然界を走る人工物もデザインによっては美しいと思う。デザイナー等の意見や設計も取り入れるべき」
41	「掘割式又はトンネル式に寄る道路建設」、「高速道路をトンネルにし、その地上部に太陽光パネルを建設して災害時の電力にも備える」、「建設期間中、沿線地域の交通安全や事故防止に最大限の配慮」、「スマートI,Tを数カ所建設」、「防災時に効率的に使用するため、一般道との交差点に非常時の出入り口の建設」
42	「高架橋のような高い道路はできるだけさけて、平坦な道路であるべき」、「一般道への接点はできるだけ単純にして、141号へつなげてほしい」
43	「大泉地内にスマートICを設置して渋滞を解消してほしい」